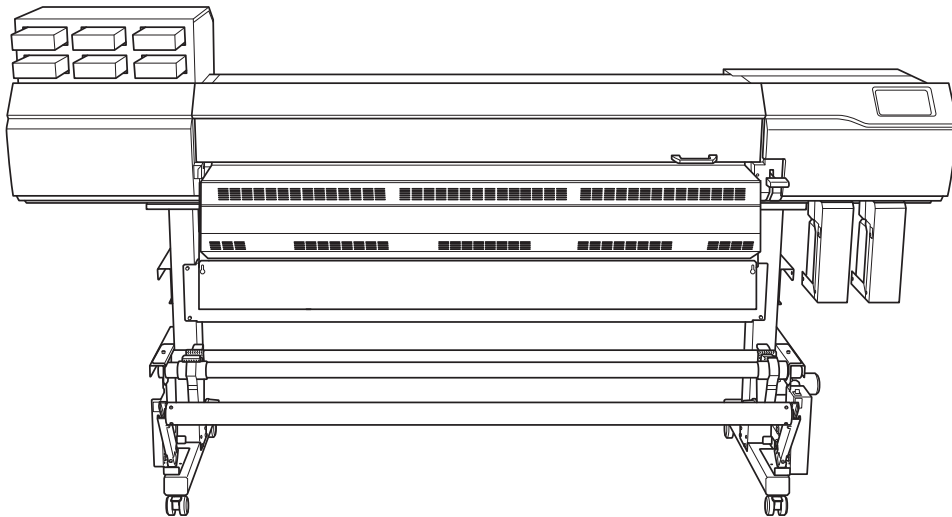


WF1-L640

セットアップガイド



このたびは本製品をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございました。

- 本製品を正しく安全にご使用いただくため、また性能を十分理解していただくために、本書を必ずお読みください。
 - 本書は必要なときにいつでも見るようにしてください。
 - 本書の内容の一部または全部を、無断で複写・複製することはできません。
 - 本製品の仕様ならびに本書の内容は、予告なしに変更することがあります。
 - 本製品および本書の内容について、万が一不審な点や誤り、記載漏れなど、お気づきの点がございましたら、当社あてにご連絡ください。
 - 本製品の故障の有無にかかわらず、本製品をお使いいただいたことによって生じた直接ないし間接的な損害に対して、当社は一切の責任を負いません。
 - 本製品により作られた製作物に対して生じた、直接ないし間接的な損害に対して、当社は一切の責任を負いません。
-

目次

はじめに	2
1. 設置前の確認.....	3
本機の取扱説明書について.....	3
据え付け、設置作業について.....	3
本機の電源について.....	4
設置場所を決めるには.....	5
温度と湿度.....	6
設置スペース.....	7
2. 付属品の確認.....	8
3. ソフトウェアのインストール.....	10
設置	11
1. 組み立てとインク充てん.....	12
作業前の確認.....	12
Step 1: スタンドの組み立て.....	13
Step 2: プリンター本体とスタンドの取り付け.....	16
Step 3: メディアホルダーとメディアステイの取り付け.....	19
Step 4: メディア巻取装置の組み立て.....	23
Step 5: ドライヤーの取り付け.....	33
Step 6: 廃液ボトルの取り付け.....	41
Step 7: 固定具の取り外し.....	44
Step 8: プrintヘッドの取り付け.....	45
Step 9: 洗浄液の充てん.....	46
Step 10: インクの準備.....	48
Step 11: ケーブル類の接続.....	52
Step 12: 初期設定とインク充てん.....	54
2. ネットワークの設定.....	57
固定 IP アドレスを設定する.....	57
コンピューターと直接接続する.....	59
3. 調整とソフトウェア RIP の設定.....	63
調整作業をする.....	63
ソフトウェア RIP を設定する.....	63
付録	64
定格電源およびシリアル番号の表示位置.....	65
仕様一覧表.....	66

はじめに

1. 設置前の確認	3
本機の取扱説明書について	3
据え付け、設置作業について	3
本機の電源について	4
設置場所を決めるには	5
温度と湿度	6
設置スペース	7
2. 付属品の確認	8
3. ソフトウェアのインストール	10

1. 設置前の確認

本機の取扱説明書について

本機には以下の取扱説明書が付属しています。

紙マニュアル

- **安全上のご注意**

必ず守っていただきたいことを記載しています。

電子マニュアル

- **セットアップガイド (本書)**

本機の設置方法と初期設定方法を記載しています。

- **ユーザーズマニュアル**

本機の使い方、メンテナンス方法、FAQ (よくあるご質問) などを記載しています。

据え付け、設置作業について

本機の据え付け、設置作業は、専門の作業員が行います。

警告

運搬、積み降ろし、据え付けなどは、専門の作業員に任せる。

取り扱いには相応の設備や技能が必要です。無理な作業は、重大な事故の原因になります。

本機の電源について

本機の電源電圧は 200-240 V で、プリンター本体 1 つ、ドライバー 2 つの合計 3 つの電源コードを使用します。電源コードはそれぞれ別のブレーカーに接続してご使用ください。

最大消費電流

製品合計：23 A

- プリンター：3 A
- ドライヤー 1：10 A
- ドライヤー 2：10 A

設置場所を決めるには

静かで安定している条件のよい場所に設置してください。不適切な場所は、事故や火災のもとになったり、誤動作や故障の原因になったりします。

⚠ 警告

水平で安定した、本機の重量に耐えられる場所に設置する。

本機の総重量は 311 kg 以上になります。適さない場所では、転倒、転落、崩落など重大な事故の恐れがあります。

⚠ 警告

屋外、水のかかる場所、湿気が多い場所には設置しない。

漏電によって感電したり、引火して火災になったりすることがあります。

⚠ 警告

燃えやすいものの近くや、ガスの充満する場所には設置しない。

引火や爆発の恐れがあります。

⚠ 警告

きれいに片づけられた、明るい場所に設置する。

暗く散らかった場所は、つまずいた拍子に本機に巻き込まれるなど、思わぬ事故の原因になります。

⚠ 警告

電源プラグにいつでもすぐ手が届くようにしておく。

緊急時にすばやく電源プラグを抜くためです。コンセントのそばに機器を設置してください。また、コンセントにすぐ近づけるだけのスペースを空けてください。

⚠ 注意

作業場所は、換気する。

換気しないと、インクの臭いで健康を害する恐れがあります。

設置に適さない場所

- 温度・湿度の変化が大きい場所
- 揺れや振動のある場所
- 床が傾いていたり、平らでなかったり、不安定だったりする場所
- ほこりや塵の多い場所
- 直射日光が当たる場所
- 冷暖房器具が近くにある場所
- 水などがかかったり、風が当たったりする場所
- 電磁波など、電氣的・磁氣的なノイズの多い場所

温度と湿度

使っていないときでも、決まった温度と湿度を守ってください。守られない場合、本機の故障の原因になります。

- 動作時：温度 20 ～ 30 °C、湿度 20 ～ 80 % RH（ただし結露のないこと）
- 非動作時：温度 5 ～ 40 °C、湿度 20 ～ 80 % RH（ただし結露のないこと）

重要

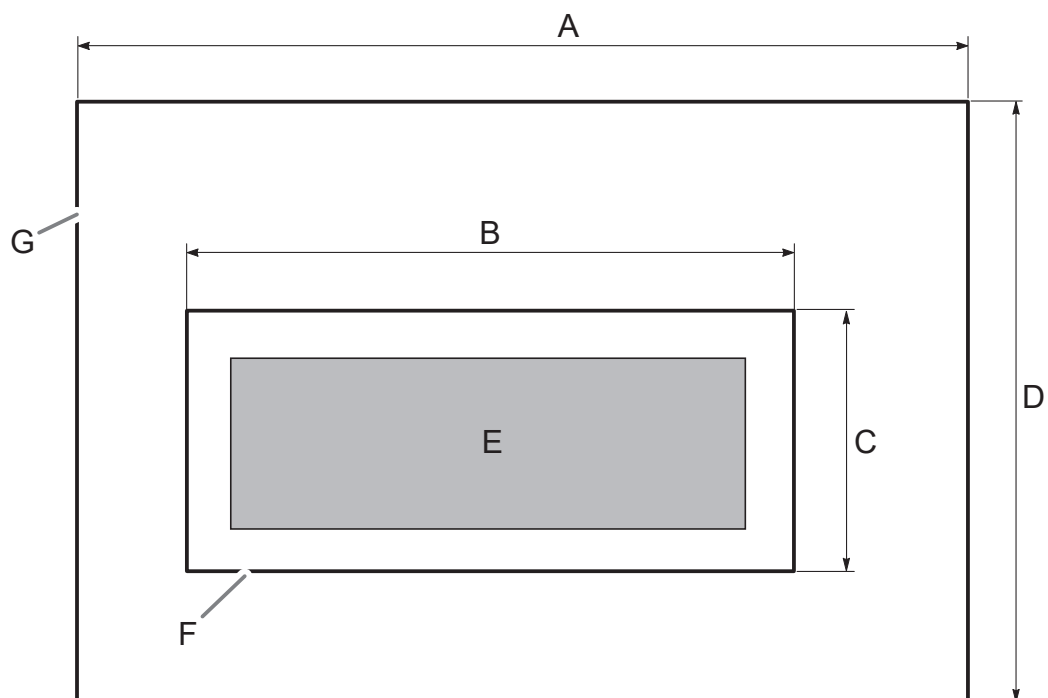
推奨環境

メディアの種類によっては画質に差が出る場合があります。以下の環境での印刷をおすすめします。

- 温度 20 ～ 25 °C、湿度 40 ～ 60 % RH（ただし結露のないこと）

設置スペース

本機をお使いいただくには、以下のスペースが必要です。

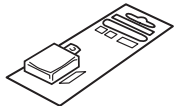

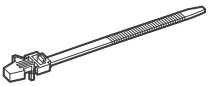
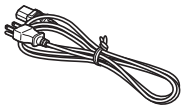

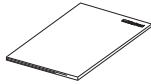


A	4,500 mm
B	3,500 mm
C	1,000 mm
D	2,000 mm
E	機体
F	機体スペース
G	作業スペース

2. 付属品の確認

本機には次のものが付属しています。すべてそろっているかご確認ください。

			
ドライバーユニット (1)	延長エプロン (1)	スタンドステイ (ドライバーコントロール付き) (1)	延長カバー (1)
			
ダンサーローラー (1)	キャスター (2)	スタンド脚 (左右各 1)	シャフト (4)
			
コントロールボックス、モーター付きメディアホルダー (1)	メディアホルダー (左右各 1)	メディアホルダー (左) (1)	ステイ (左) (1)
			
アーム A (左右各 2)	アーム B (2)	断熱材 (延長エプロン用) (1)	断熱材 (アーム B 用) (2)
			
廃液ボトルスタンド (2)	廃液ボトル (2)	シャフト押さえ (4)	メディアステイ (2)
			
ダンパーユニット (2)	プリントヘッドユニット (2)	チューブ (6)	プリントヘッド用ねじ (8)
			
廃液チューブ (2)	ボルト (82)	六角レンチ (1)	パイプ (1)
			
パウチトレイ (6)	ピンセット (1)	洗浄液ボトル (2)	クリーニングスティック

 <p>セパレーティングナイフ替え刃 (1)</p>	 <p>ケーブルクランプ (10)</p>	 <p>結束バンド (6)</p>	 <p>電源コード (3)</p>
 <p>紙管 (1)</p>	 <p>マニュアル類</p>		

3. ソフトウェアのインストール

以下のソフトウェアのダウンロードおよびインストールをおこないます。

- **VersaWorks** : RIP およびプリントマネジメントをおこなうソフトウェアです。

重要

ソフトウェアのダウンロードおよびインストールには、インターネット環境が必要です。

手順

1. Windows を起動し、コンピューターの「管理者」（または Administrators）のアカウントでログオンする。
起動しているアプリケーションソフトはすべて終了させてください。

メモ

本ソフトウェアを使用できるのは、インストールを実施した「管理者」ユーザーだけです。

2. ソフトウェアをダウンロードするコンピューターで以下のサイトにアクセスする。

- VersaWorks インストーラー :

https://downloadcenter.rolanddg.com/contents/software_parts/VW6_versaworks-agreement.html

メモ

すでにインストールされた VersaWorks をアップデートする場合は、以下からダウンロードし画面の指示に従ってアップデートしてください。

- VersaWorks アップデーター :

https://downloadcenter.rolanddg.com/contents/software_parts/VersaWorks_updater.zip

3. ソフトウェアの使用許諾をお読みいただき、内容をご承諾いただける場合は[同意する]をクリックする。

4. [VW_Installer.exe]を任意の場所にダウンロードする。

5. VW_Installer.exe をダブルクリックし、画面の指示に従って VersaWorks をインストールする。

6. 必要に応じ、以下のファイルをダウンロードする。

- VersaWorks PPD : [https://downloadcenter.rolanddg.com/contents/software_parts/VERSAW\(10.13\).zip](https://downloadcenter.rolanddg.com/contents/software_parts/VERSAW(10.13).zip)

設置

1. 組み立てとインク充てん	12
作業前の確認	12
Step 1: スタンドの組み立て	13
Step 2: プリンター本体とスタンドの取り付け	16
Step 3: メディアホルダーとメディアステイの取り付け	19
Step 4: メディア巻取装置の組み立て	23
Step 5: ドライヤーの取り付け	33
Step 6: 廃液ボトルの取り付け	41
Step 7: 固定具の取り外し	44
Step 8: プrintヘッドの取り付け	45
Step 9: 洗浄液の充てん	46
Step 10: インクの準備	48
Step 11: ケーブル類の接続	52
Step 12: 初期設定とインク充てん	54
2. ネットワークの設定	57
固定 IP アドレスを設定する	57
コンピューターと直接接続する	59
3. 調整とソフトウェア RIP の設定	63
調整作業をする	63
ソフトウェア RIP を設定する	63

1. 組み立てとインク充てん

作業前の確認

⚠ 警告

運搬、積み降ろし、据え付けなどは、専門の作業員に任せる。

取り扱いには相応の設備や技能が必要です。無理な作業は、重大な事故の原因になります。

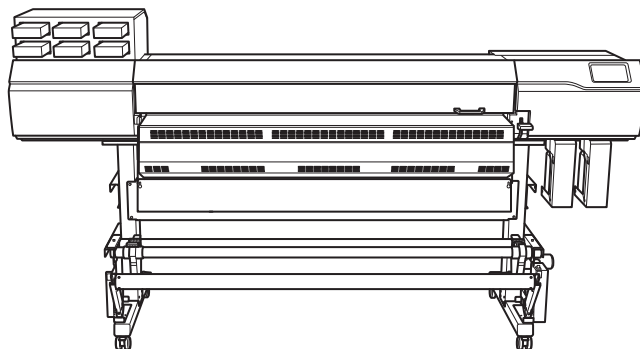
⚠ 注意

積み降ろしや据え付けの作業は、6人以上で行う。

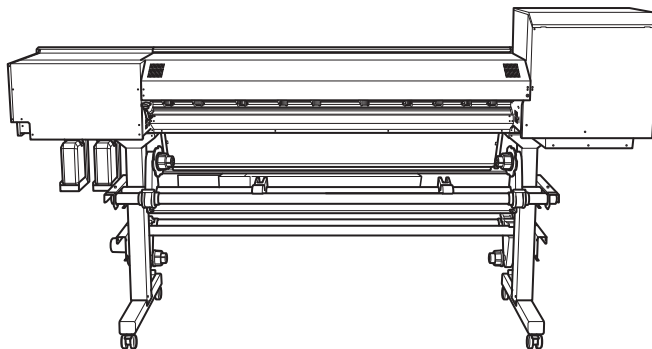
少人数での無理な作業は、身体を痛めます。もし落下すると、けがの原因になります。

完成図

前面



背面



必要な工具 (付属品)

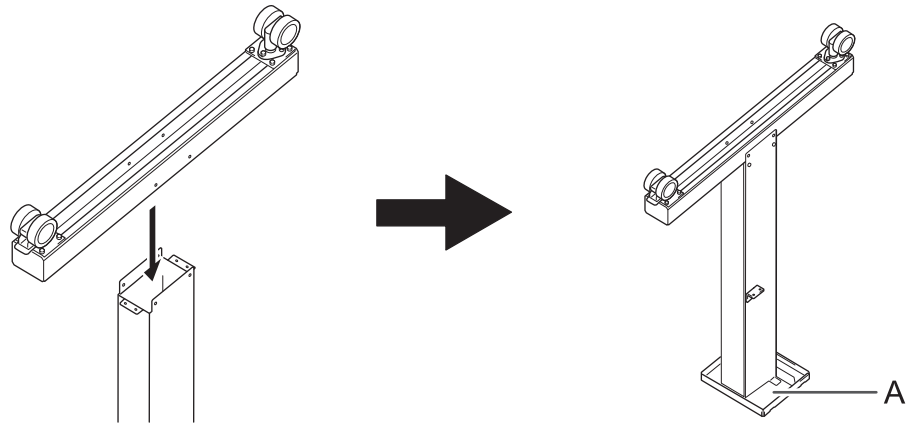
- 六角レンチ (1)
- パイプ (六角レンチが短くてボルトを締めにくいときに使用します) (1)

Step 1: スタンドの組み立て

手順

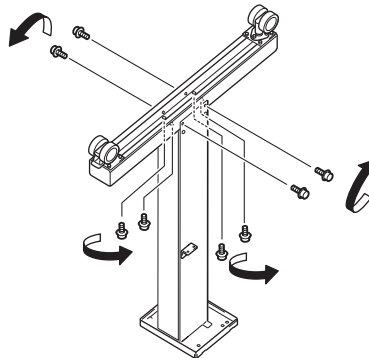
1. スタンド脚にキャスターをのせる。

スタンド脚の天板 (A) を下にして、キャスターをのせます。キャスターは、前後の向きはありません。

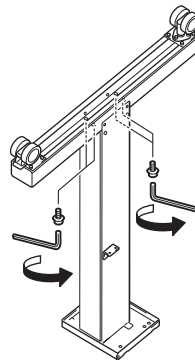


2. ボルト (×8) でキャスターを固定する。

(1) 下側 4 箇所、側面 4 箇所を仮締めする。

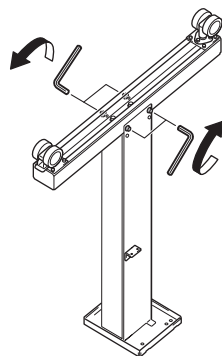


(2) 下側 4 箇所を本締めする。

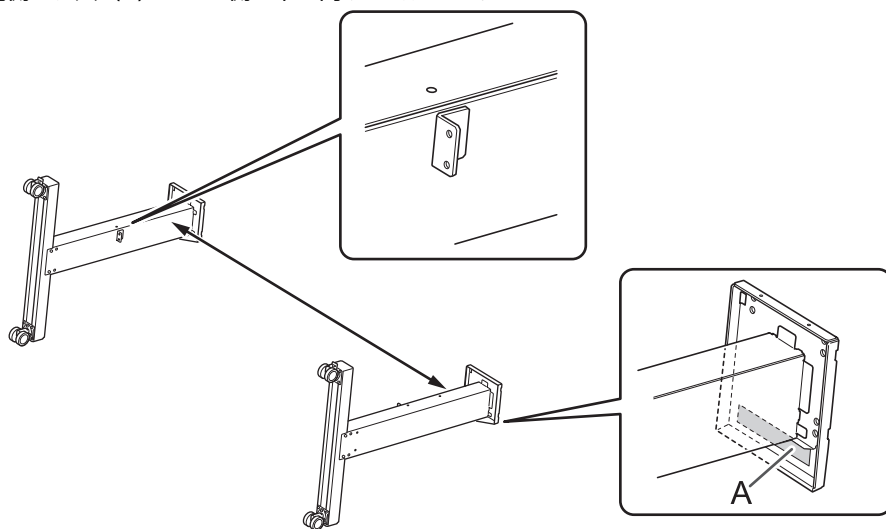


(3) 側面 4 箇所を本締めする。

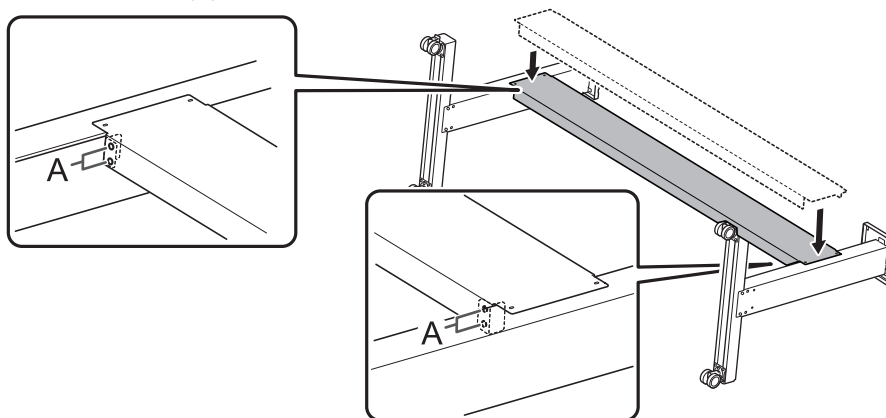
1. 組み立てとインク充てん



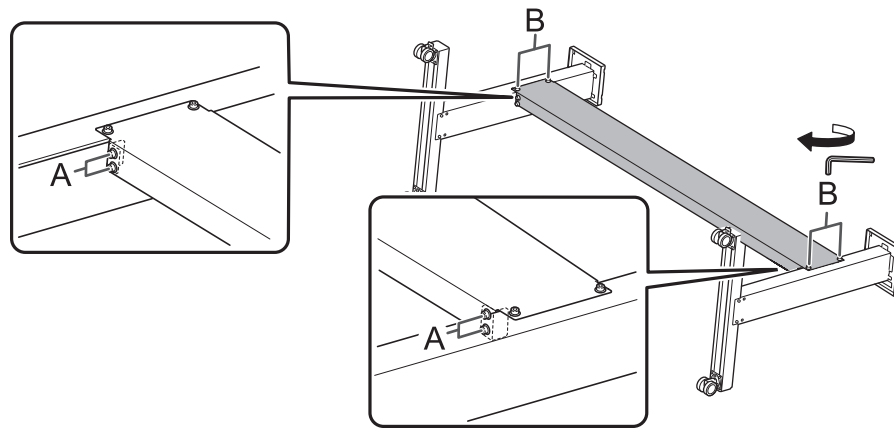
3. もう一方のスタンド脚も 1 から 2 の手順で組み立てる。
4. 左右のスタンド脚を約 1,800 mm の間隔をあけて平行に配置する。
L字型金具を内側に、穴 (A) がある側を下に向けてください。



5. スタンド脚にスタンドステイ (ドライバーコントローラー付き) をのせる。
スタンドステイは、取り付け穴 (A) がある面をキャスター側に向けてください。



6. ボルト (×8) でスタンドステイを固定する。
 - (1) ボルト (A) の 4 箇所、ボルト (B) の 4 箇所を仮締めする。
 - (2) ボルト (A) の 4 箇所を本締めする。
 - (3) ボルト (B) の 4 箇所を本締めする。ボルトはしっかりと締めつけてください。ボルトの緩みはスタンド揺れの原因になります。



7. スタンドを起こす。

重要

必ず2人がそれぞれのスタンド脚を持ち、スタンドを起こしてください。ひとりで起こそうとするとスタンドステイが曲がる可能性があります。

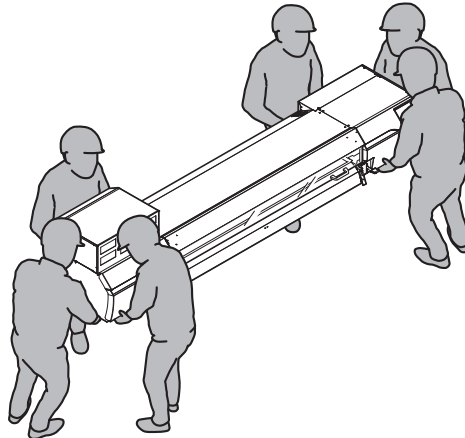
Step 2: プリンター本体とスタンドの取り付け

手順

1. 作業員 6 人以上でプリンター本体を持ち上げる。

⚠ 注意

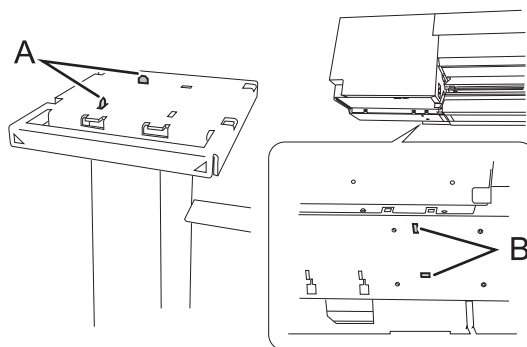
設置作業は、6 人以上で行う。
本機が落下するなどしてけがをすることがあります。



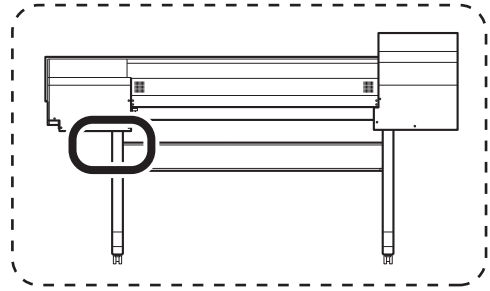
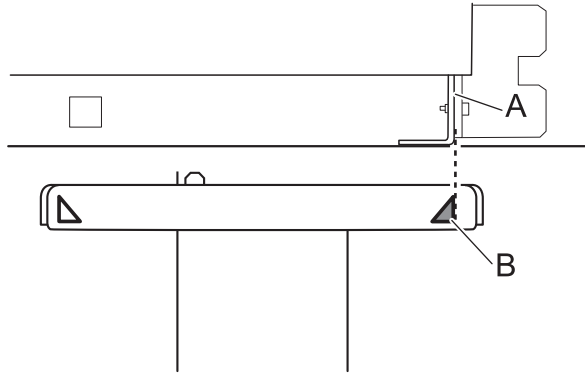
2. スタンドをプリンター本体の下に移動する。
手順 1 とは別の作業員がスタンドを移動してください。
3. プリンター本体とスタンドの位置を合わせる。

重要

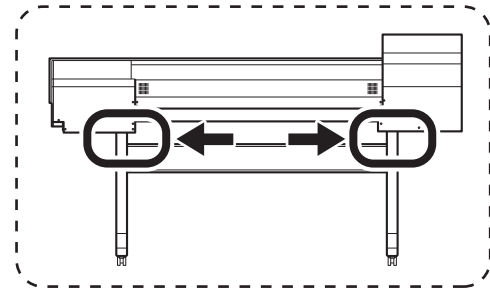
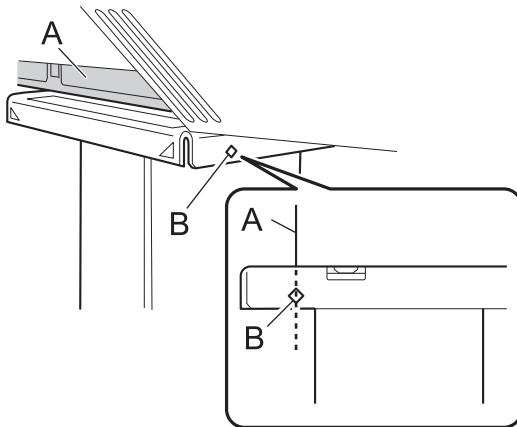
スタンドの天板には突起 (A) があり、プリンター本体のスリット (B) に入ることによって前後左右方向の位置が合います。位置を合わせてからプリンター本体をスタンドに置いてください。



- (1) プリンター背面から見て、プリンター本体の面 (A) とスタンドの三角マークの鉛直線 (B) を合わせる。
(左右方向の位置合わせ)



(2) 内側から側面を見て、プリンター本体の面 (A) とスタンドのひし形マーク (B) の中心位置を合わせる。
(前後方向の位置合わせ)



4. プリンター本体をスタンドに置く。

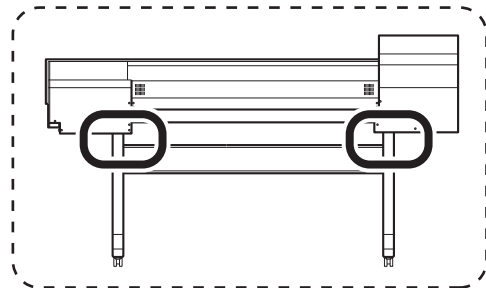
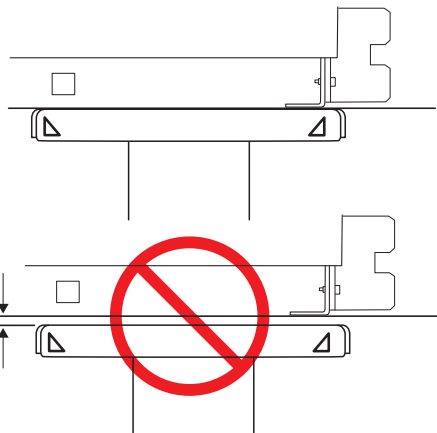
重要

必ず作業員がプリンター本体を支えた状態で、手順 6 の仮締めまでを行ってください。手順 6 でボルトを取り付ける前に本体から手を離すと、プリンター本体が倒れる可能性があります。

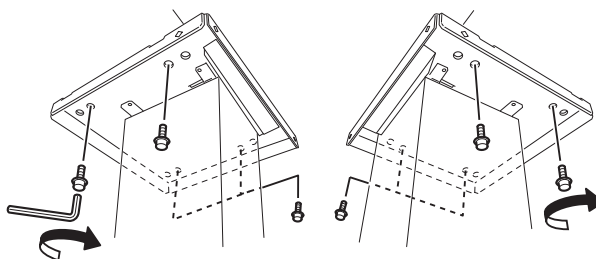
5. 左右のスタンドの天板とプリンター本体にすき間がないことを確認する。

メモ

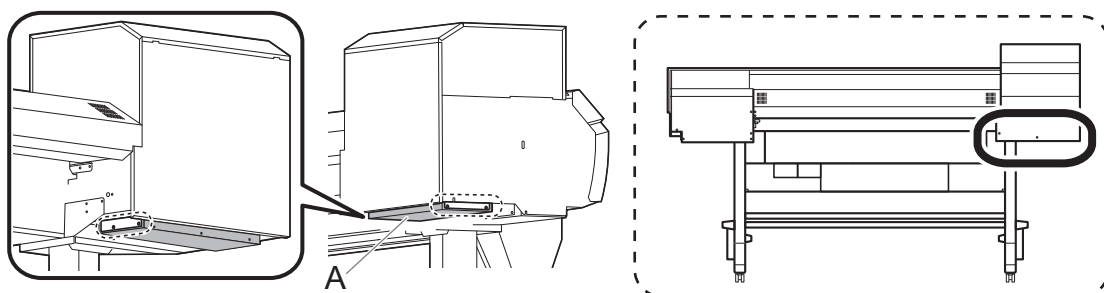
プリンター本体の重心が後側にあるため、プリンター前面側はすき間ができる場合があります。



6. プリンター本体をスタンドに固定する。
- (1) 機体の後側を軽く持ち上げ、機体を水平にする。
 - (2) ボルト (×8) を仮締めする。
 - (3) ボルト (×8) を本締めする。

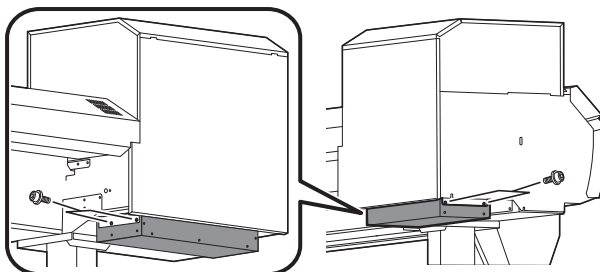


7. 機体の背面に移動し、サブタンク (A) を軽く支えながらボルト (×4) を取り外す。



8. サブタンクを支えていた手をゆっくり離す。
サブタンクが約 30 mm 下がります。

9. 手順 7 で取り外したボルトを使用して、ボルト (×4) を仮締めする。



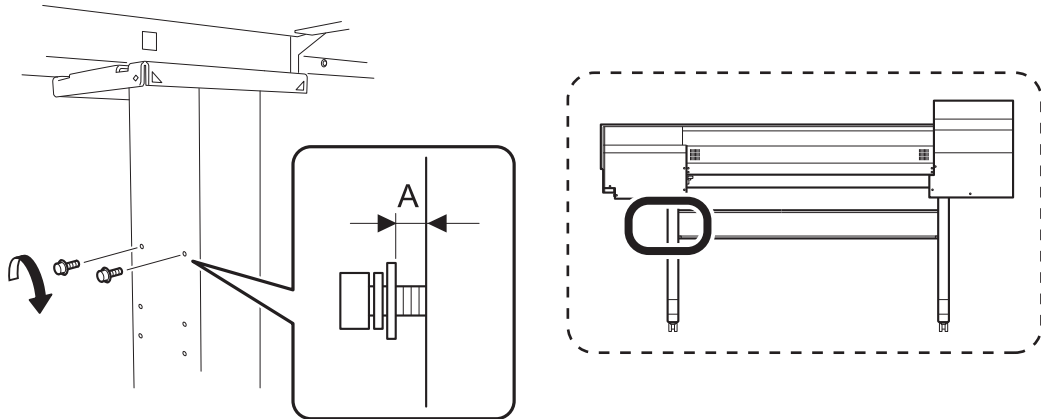
10. ボルト (×4) を本締めする。
サブタンクが下がった位置で固定されます。

Step 3: メディアホルダーとメディアステイの取り付け

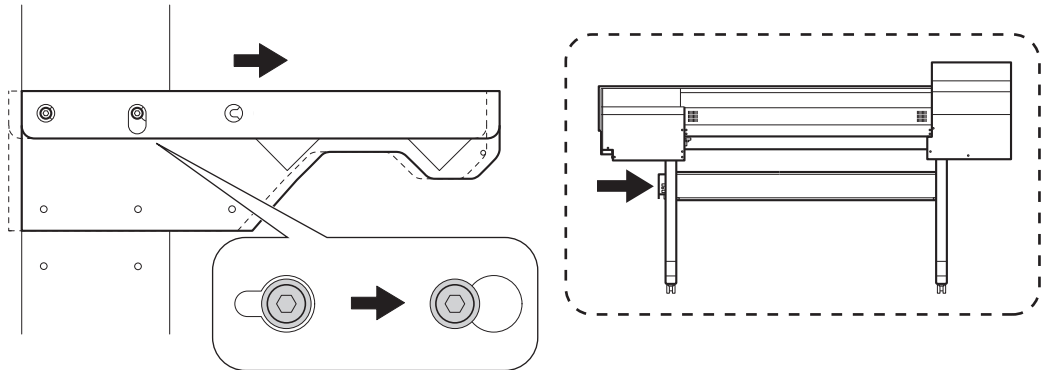
1. アーム A を取り付ける

手順

1. プリンター背面から見て左側のスタンドにボルトを仮締めする。
スタンド側面の穴に、ねじ部が約 5 mm 見える位置 (A) までボルトを締めてください。

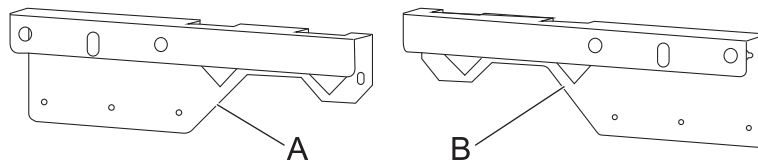


2. 仮締めしたボルトにアーム A (左) を組み付け、右にスライドする。



メモ

アーム A には左側用 (A)、右側用 (B) の区別があります。間違えないように取り付けてください。



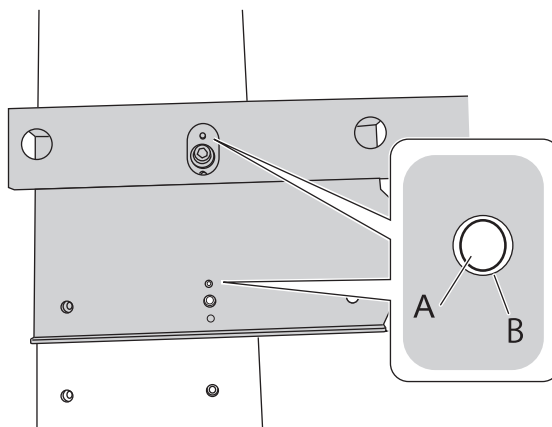
3. 仮締めしたボルトをすき間がなくなるまで手で締める。

1. 組み立てとインク充てん

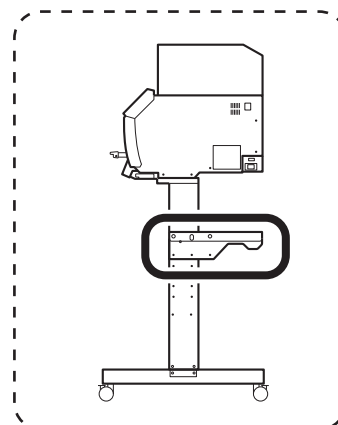
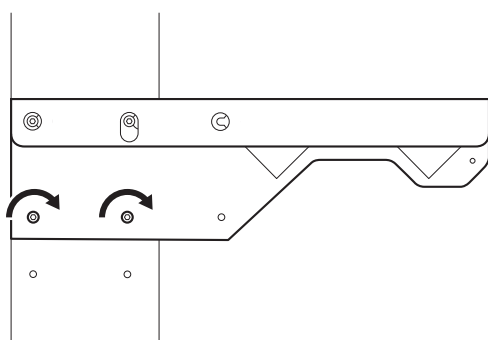
メモ

アーム A (左) とスタンドにすき間がない状態で締めてください。

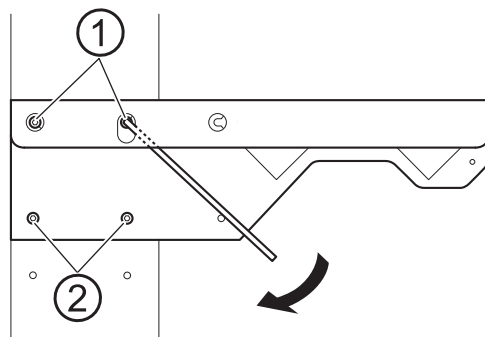
4. スタンド脚の突起 (A) がアーム A の穴 (B) の中心にあることを確認する。
中心にない場合は、アーム A を左右に動かして調整してください。



5. アーム A (左) の下側のボルトを仮締める。



6. 六角レンチで上側①、下側②の順に本締める。

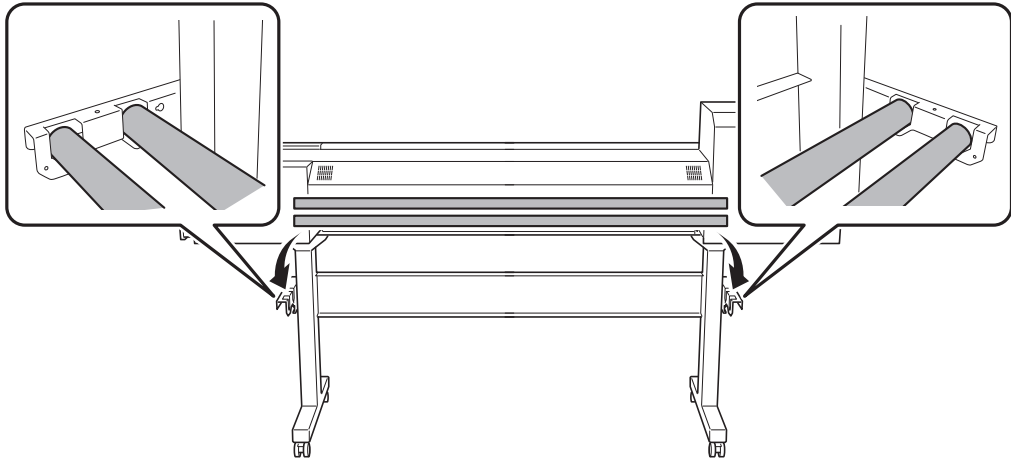


7. プリンター背面から見て右側も同様に、アーム A (右) を取り付ける。

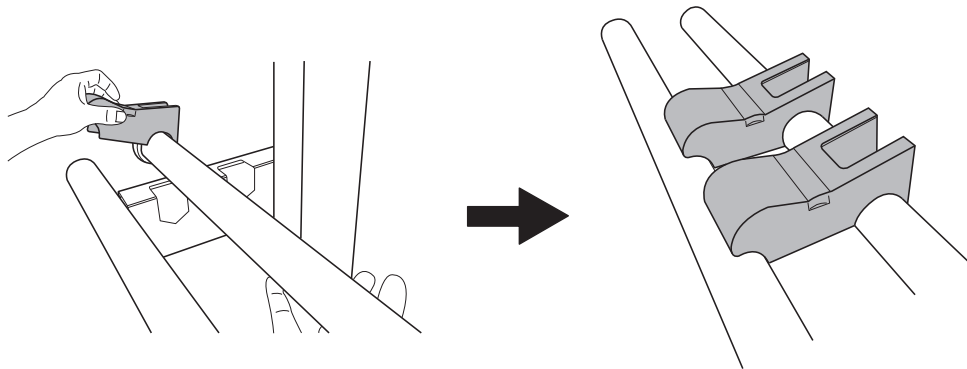
2. メディアホルダーを取り付ける

手順

1. アームにシャフト (×2) を置く。

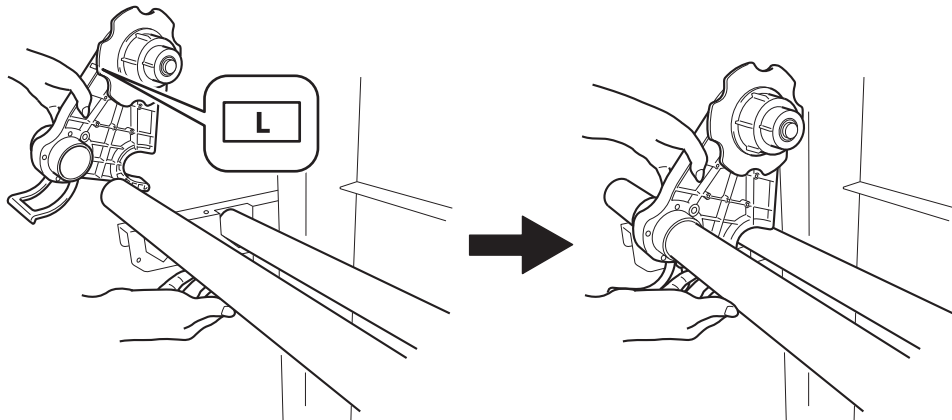


2. メディアステイ (×2) を奥側のシャフトに通す。



3. メディアホルダー (左) を取り付ける。

- (1) メディアホルダー (左) を手前側のシャフトに通す。
 (2) メディアホルダー (左) を奥側のシャフトに引っかける。

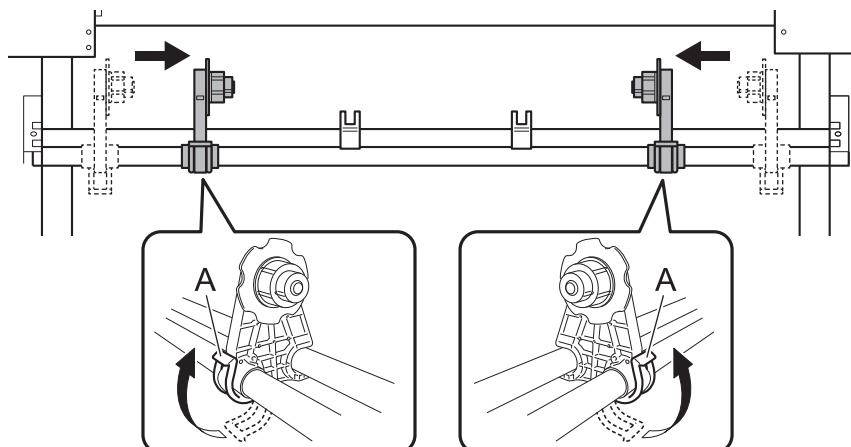


4. メディアホルダー (右) も同様に取り付ける。

Rのラベルが貼ってあるメディアホルダーを使用してください。

1. 組み立てとインク充てん

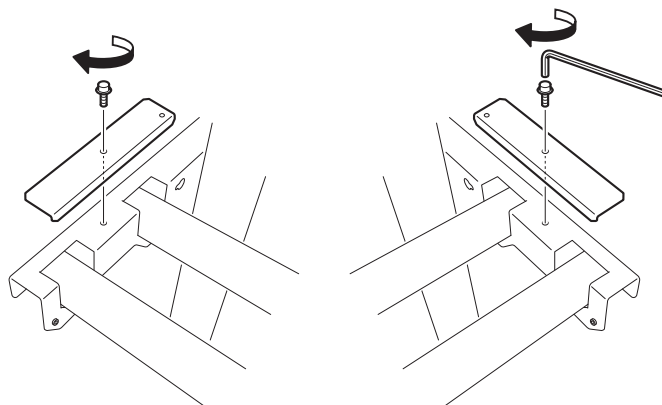
5. レバー (A) を起こして左右のメディアホルダーを固定する。
メディアホルダーは端から 100 mm 程度あけて配置してください。



6. シャフト押さえを取り付け、ボルト (×2) でシャフトを固定する。

メモ

メディアホルダーを、シャフト押さえで挟み込まないようにしてください。

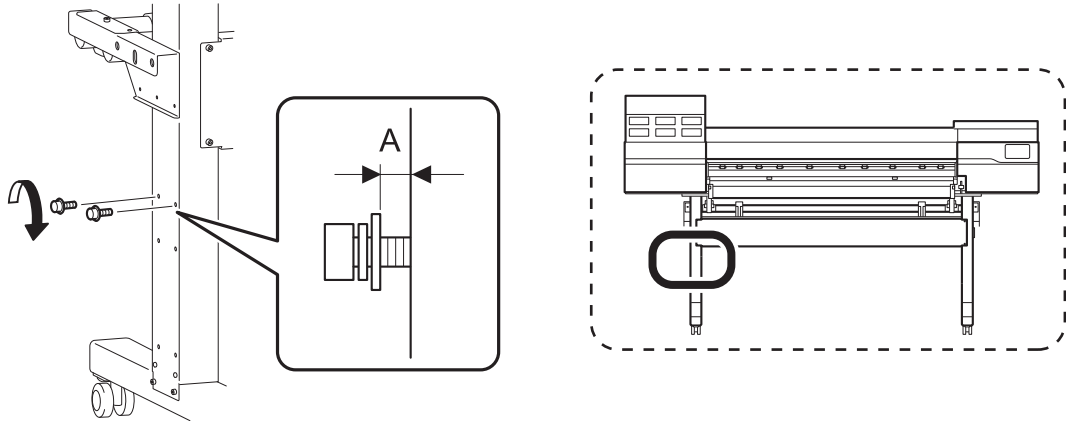


Step 4: メディア巻取装置の組み立て

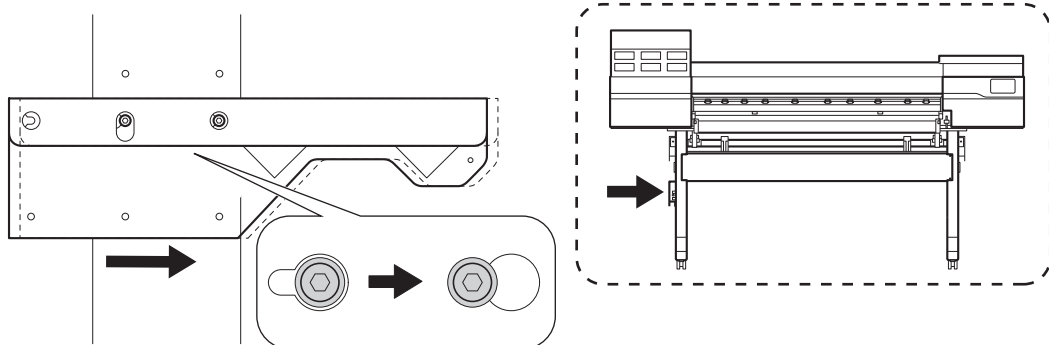
1. アーム A を取り付ける

手順

1. プリンター前面から見て左側のスタンドにボルトを仮締めする。
スタンド側面の穴に、ねじ部が約 5 mm 見える位置 (A) までボルトを締めてください。

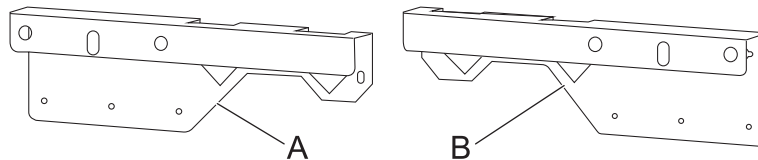


2. 仮締めしたボルトにアーム A (左) を組み付け、右にスライドする。



メモ

アーム A には左 (A)、右 (B) の区別があります。間違えないように取り付けてください。

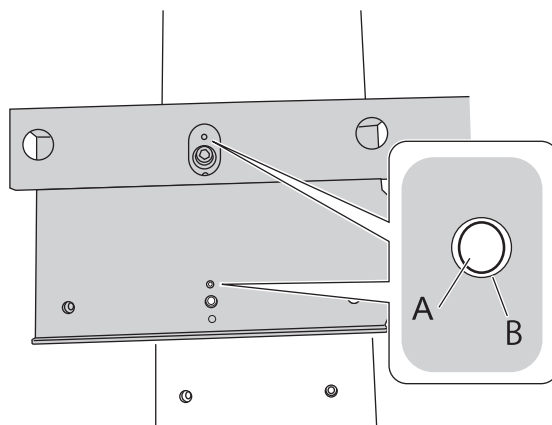


3. 仮締めしたボルトをすき間がなくなるまで手で締める。

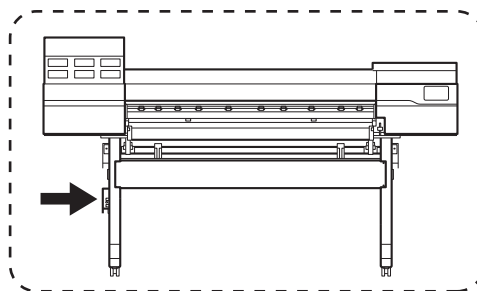
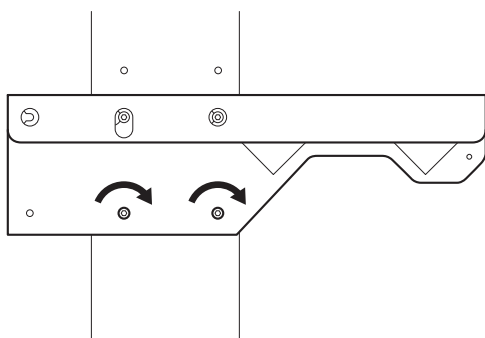
重要

アーム A (左) とスタンドにすき間がない状態で締めてください。

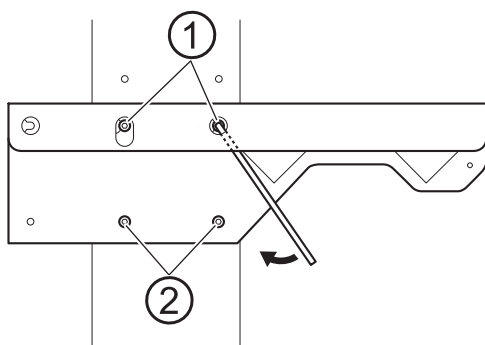
4. スタンド脚の突起 (A) がアーム A の穴 (B) の中心にあることを確認する。
中心にない場合は、アーム A を左右に動かして調整してください。



5. アーム A (左) の下側のボルトを仮締めする。



6. 六角レンチを使って、上側①、下側②の順に本締めする。



7. プリンター前面から見て右側も同様に、アーム A (右) を取り付ける。

2. コントロールボックスとステイ（左）を取り付ける

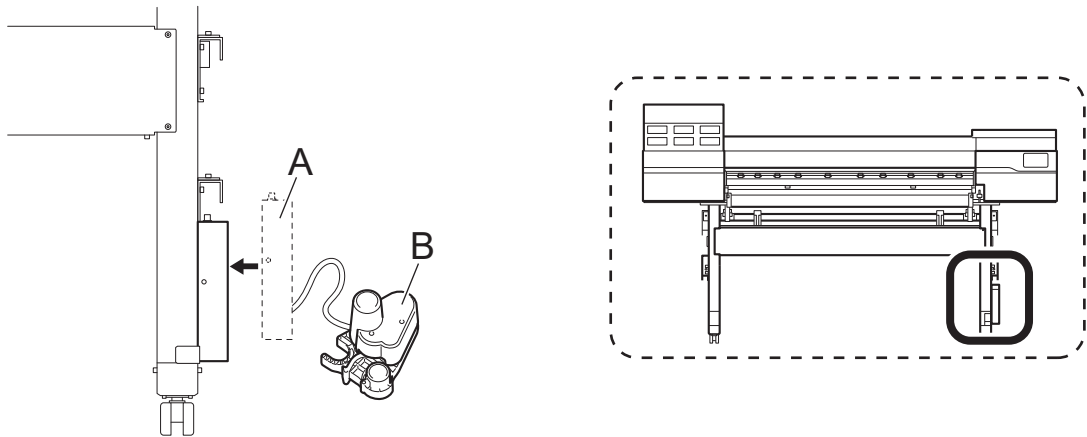
手順

1. スタンド脚（右）にコントロールボックス（A）をのせる。

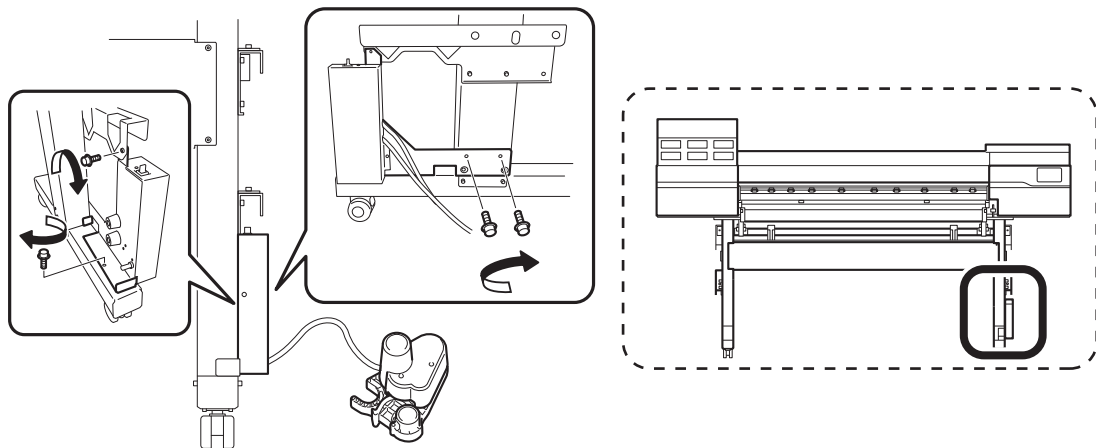
モーター付きメディアホルダー（B）はスタンド脚（右）の背面を通して組立てます。この時点では機体の外側に配置してください。

重要

コントロールボックス（A）とモーター付きメディアホルダー（B）は配線で接続されています。配線に無理な力がかからないようにしてください。



2. 図の4箇所をボルト（×4）で仮締めする。

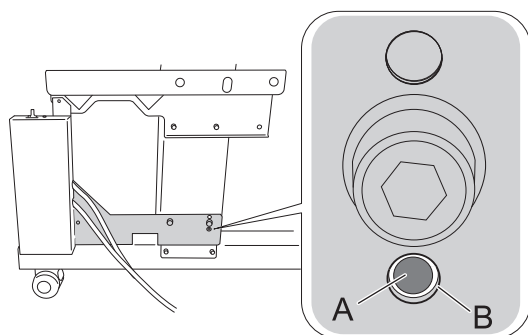


3. 仮締めしたボルトをすき間がなくなるまで手で締める。

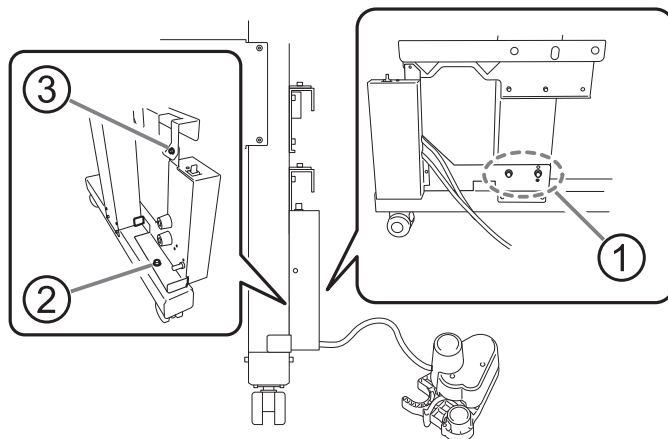
スタンド脚外面とコントロールボックスのステイ部にすき間がない状態で締めてください。

4. スタンド脚の突起（A）がコントロールボックスのステイ穴（B）の中心にあることを確認する。

中心にない場合は、コントロールボックスを動かして調整してください。



5. ①②③の順でボルトを本締めする。



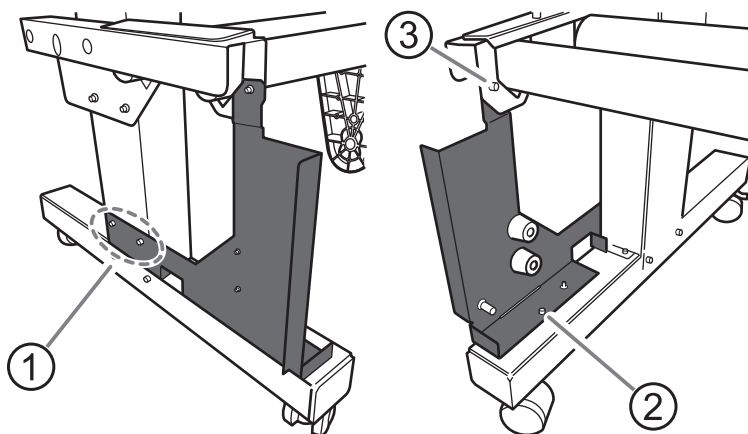
6. コントロールボックスと同様に、スタンド脚（左）にステイ（左）をのせる。

7. ステイ（左）をボルト（×4）で仮締めする。

重要

ボルトの仮締め後はコントロールボックスと同様に位置決めをしてください。

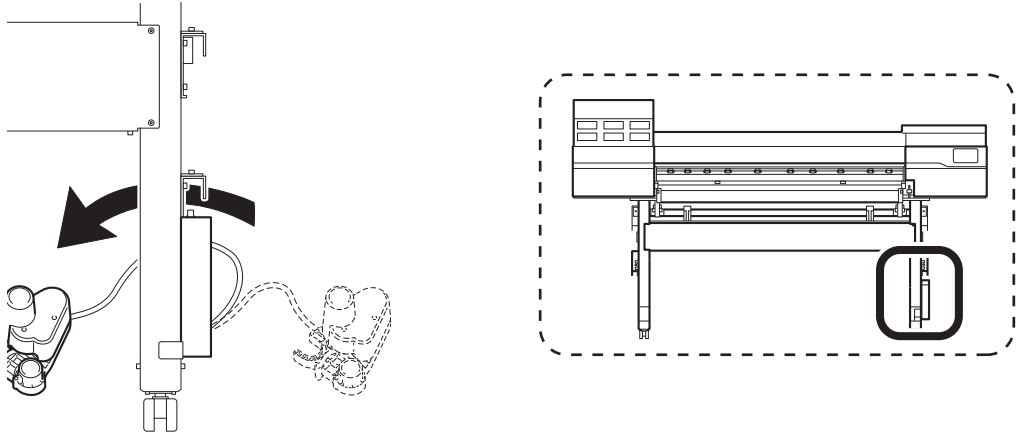
8. コントロールボックスと同様の締め付け順序でボルト（×4）を本締めする。



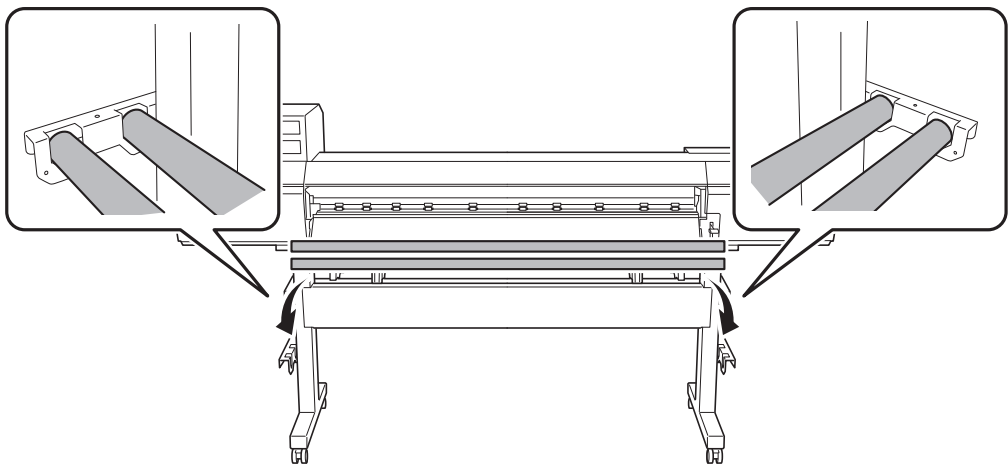
3. メディアホルダーを取り付ける

手順

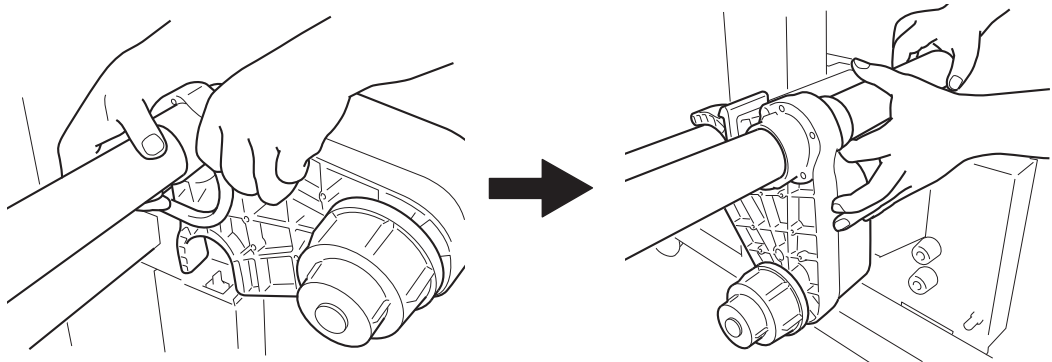
1. モーター付きメディアホルダーを図の位置に移動する。
必ずスタンドの後ろを通してください。



2. アーム A にシャフト (×2) を置く。

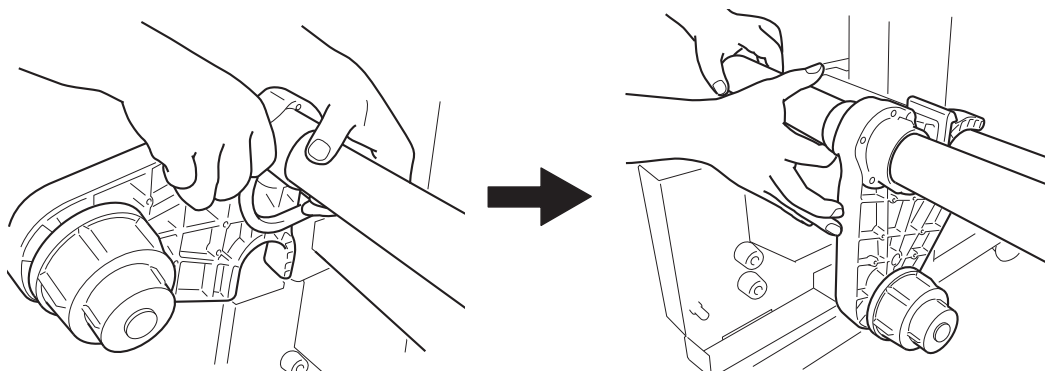


3. モーター付きメディアホルダーをシャフトに通す。
(1) モーター付きメディアホルダーを手前のシャフトに通す。
(2) モーター付きメディアホルダーを奥側のシャフトに引っかける。

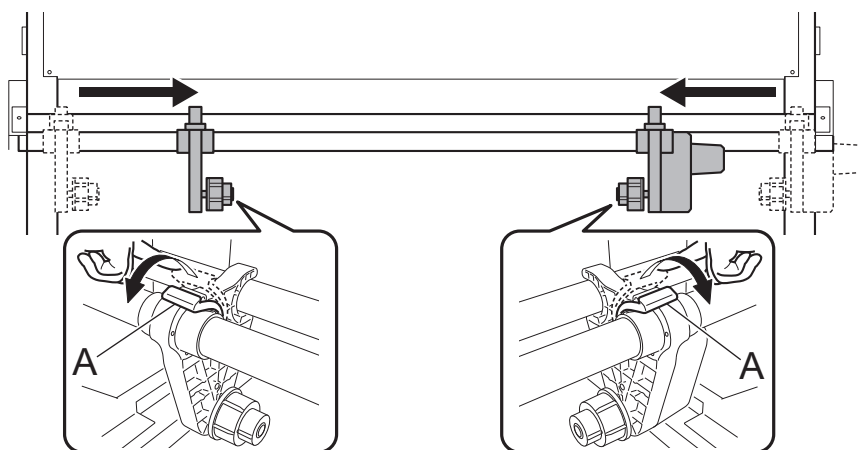


1. 組み立てとインク充てん

4. プリンター正面から見て左側も同様に、メディアホルダー（左）をシャフトに通す。



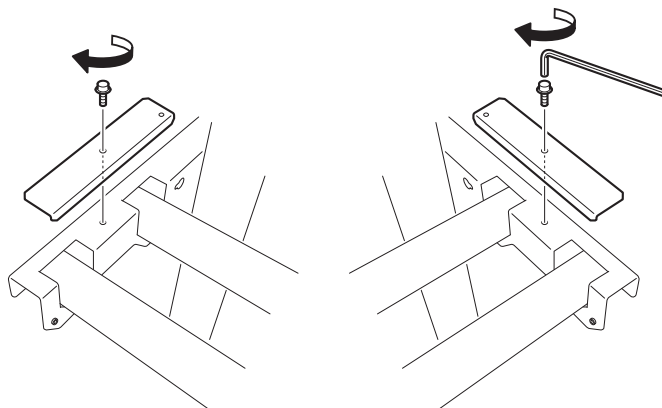
5. レバー（A）を下ろして左右のメディアホルダーを固定する。
端から 100 mm 程度あけてください。



6. シャフト押さえを取り付け、ボルト（×2）でシャフトを固定する。

重要

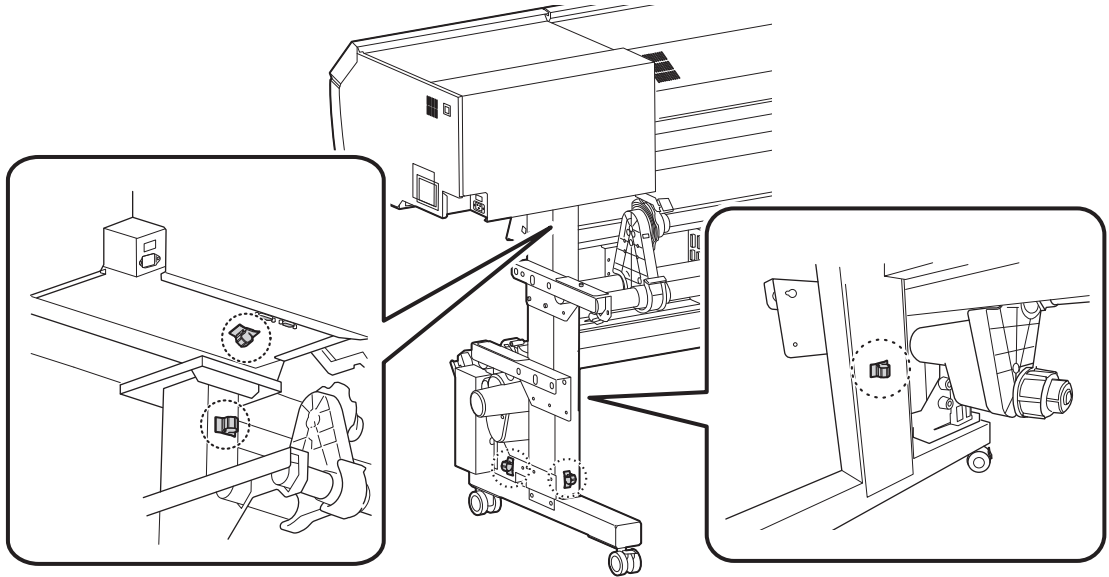
メディアホルダーを、シャフト押さえで挟み込まないようにしてください。



4. ケーブルクランプとケーブルを取り付ける

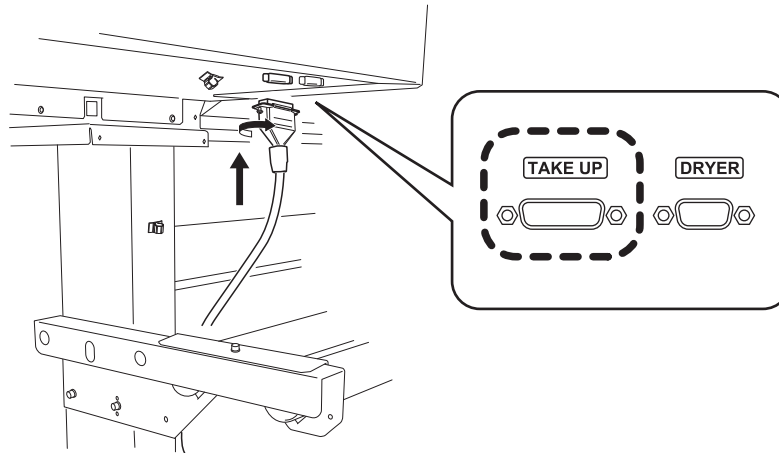
手順

1. 図の位置にケーブルクランプ（×5）を取り付ける。



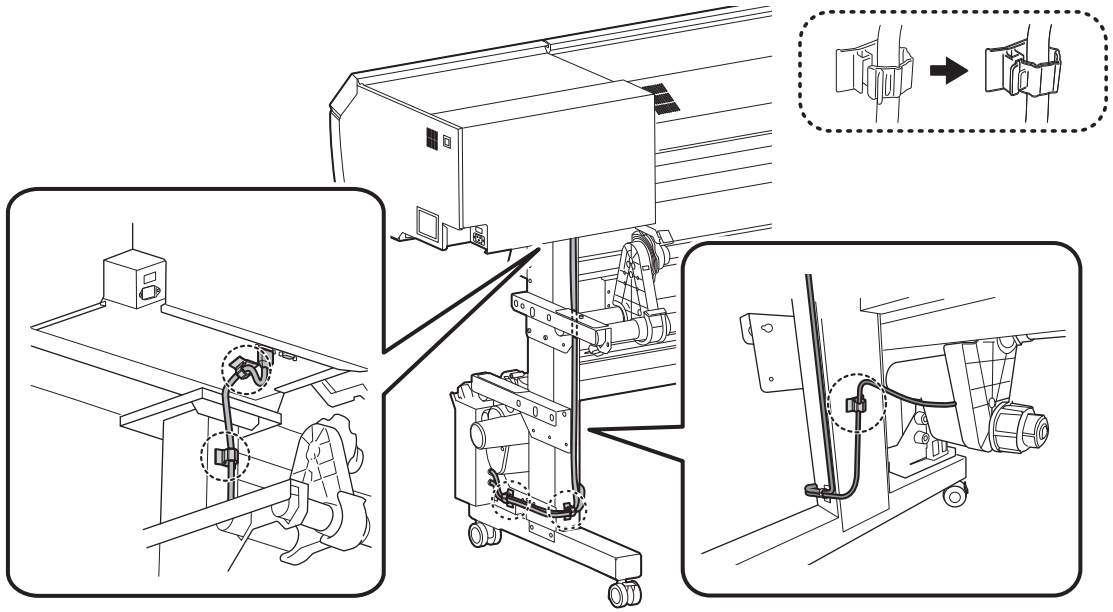
2. コントロールボックスケーブルを本体の[TAKE UP]コネクタに接続する。

- 配線はアームの内側を通してください。
- プラスドライバー（No.1）を使用してコネクタのねじを締めてください。



3. ケーブルクランプ（×5）でケーブルを固定する。

1. 組み立てとインク充てん



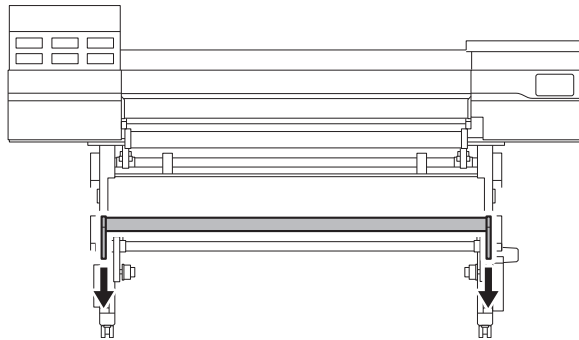
5. ダンサーローラーを取り付ける

手順

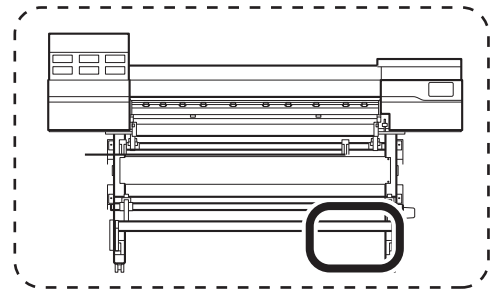
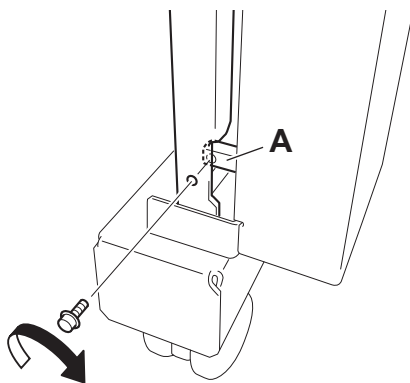
1. ダンサーローラーを立てて、スタンド脚に置く。

メモ

ダンサーローラーに前後の向きはありません。



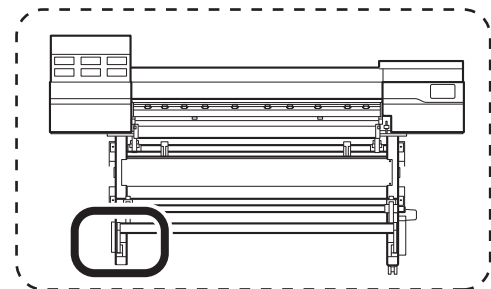
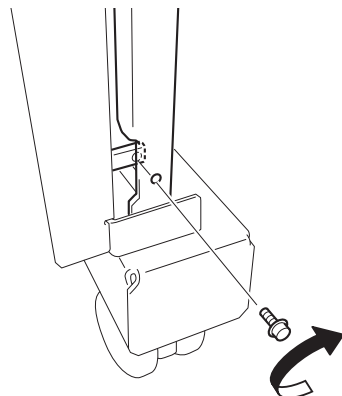
2. ダンサーローラーの右側で、軸の平らな面 (A) を手前にしてボルトを仮締めする。



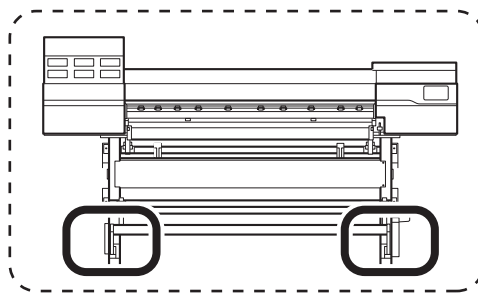
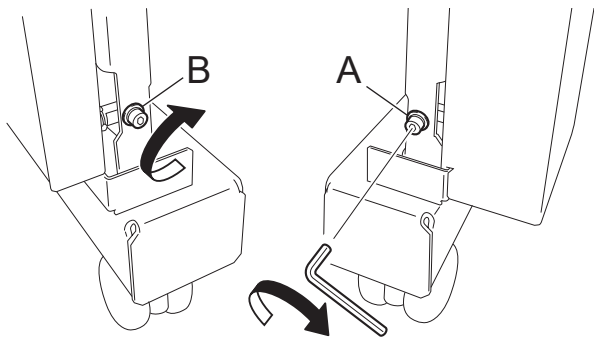
3. ダンサーローラーの左側で、ボルトを仮締めする。

メモ

左側は軸の両側ともに平らになっています。



4. ダンサーローラーの右側 (A)、左側 (B) の順に本締めする。

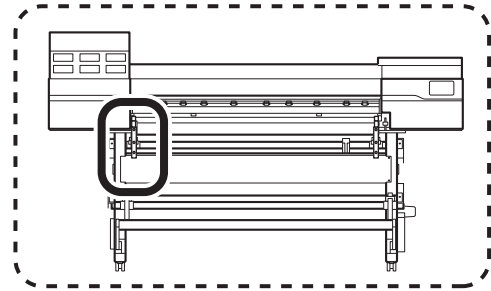
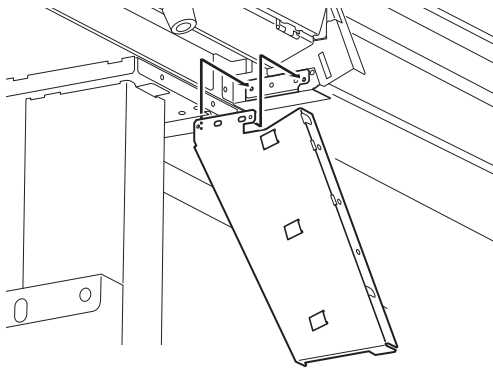


Step 5: ドライヤーの取り付け

1. アーム B を取り付ける

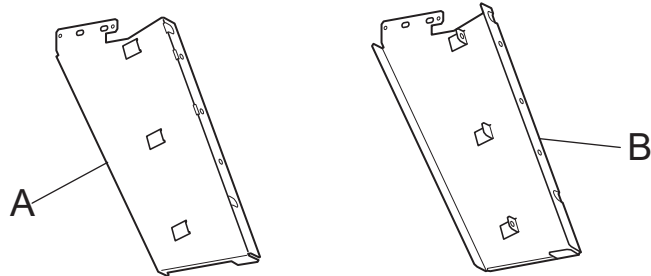
手順

1. フロントカバーを開ける。
2. プリンター前面から見て左側に、アーム B (左) を配置する。
機体側の突起とアーム B の穴の位置を合わせてください。

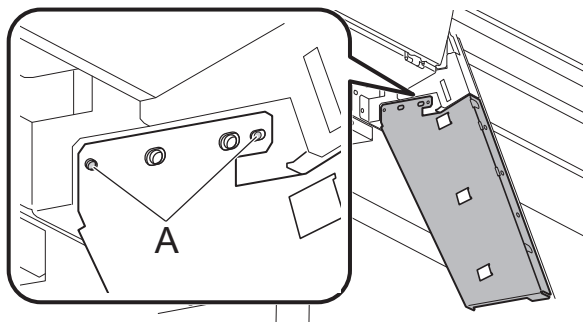


メモ

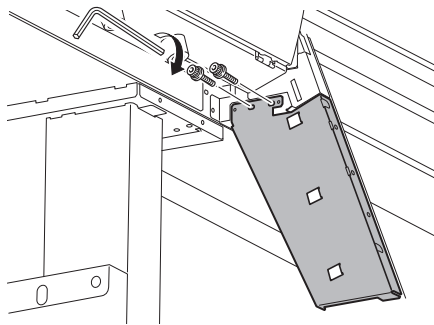
アーム B には左用 (A)、右用 (B) があります。間違えないように取り付けてください。



3. 機体の突起 (A) がアーム B の穴に入っている状態で、ボルト (×2) をすき間がなくなるまで手で締める。
入っていない場合はアーム B を動かして調整してください。



4. ボルト (×2) を本締めする。

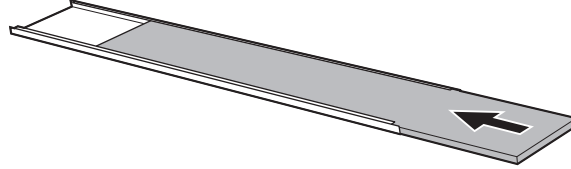


5. プリンター前面から見て右側も同様に、アーム B (右) を取り付ける。

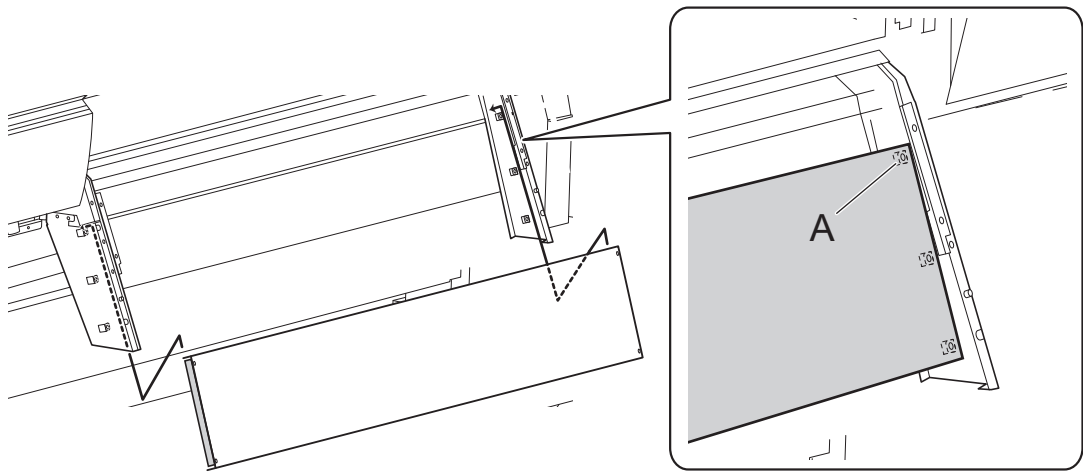
2. 延長エプロンと延長カバーを取り付ける

手順

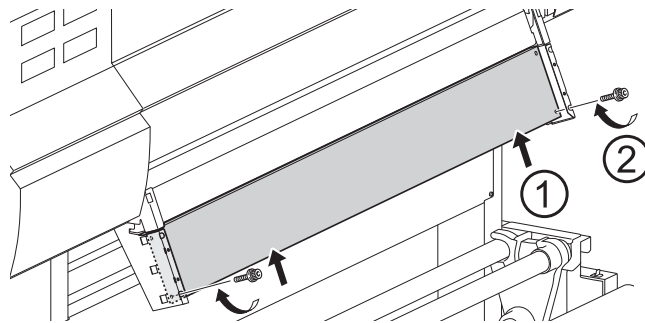
1. 延長エプロン用断熱材を延長エプロンの背面に入れる。



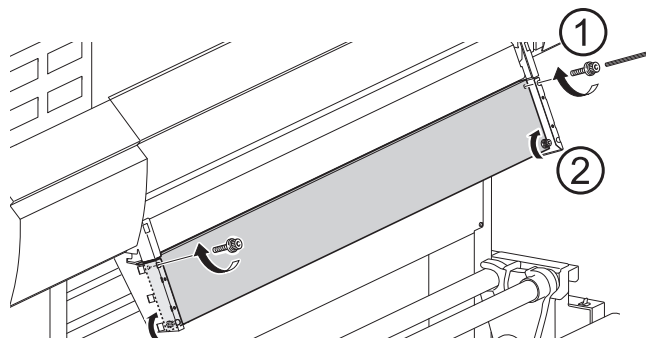
2. 延長エプロンをアームの内側に置く。
 - (1) 断熱材を機体側に向けて、アーム B の内側に下から入れる。
 - (2) 3 つあるアームの曲げの一番上 (A) に延長エプロンを載せる。



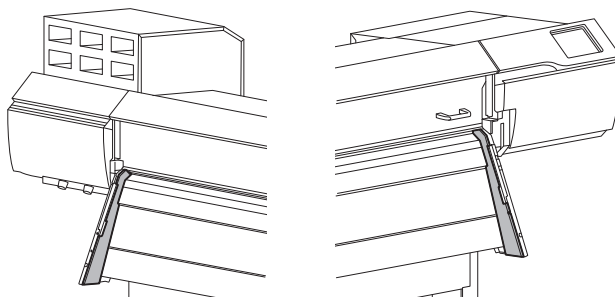
3. 延長エプロンを上に押し当てながら①、下側のボルト (×2) を仮締め②する。



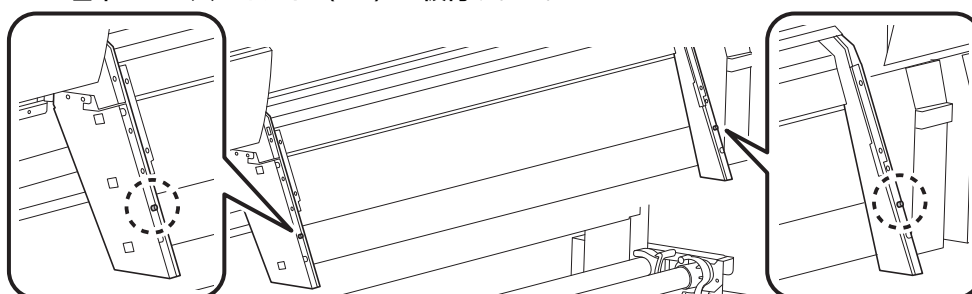
4. 延長エプロンを上に押し当てながら、上側のボルト (×2) ①、下側のボルト (×2) ②の順に本締めする。



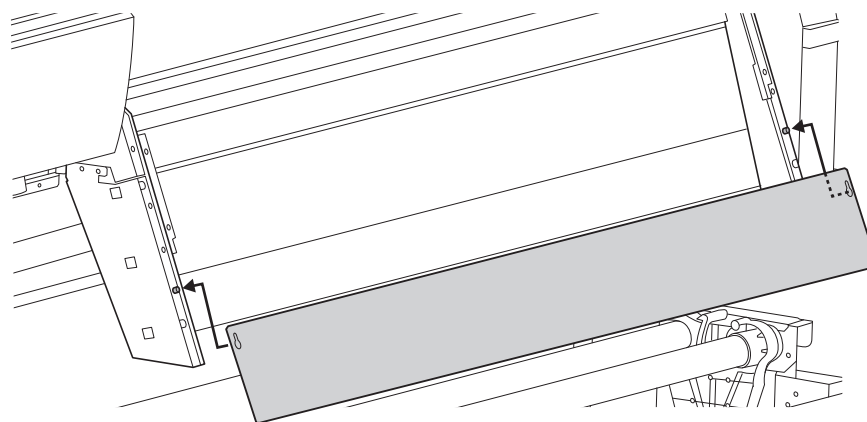
5. アーム用断熱材（左右）をアームと延長エプロンの間に入れる。
断熱材は奥まで押し込んでください。



6. 延長カバーを仮付けする。
(1) アーム B の一番下のねじ穴にボルト（×2）を仮付けする。



- (2) 延長カバーをボルトに引っ掛けて仮付けする。
この時点ではボルトを本締めしないでください。



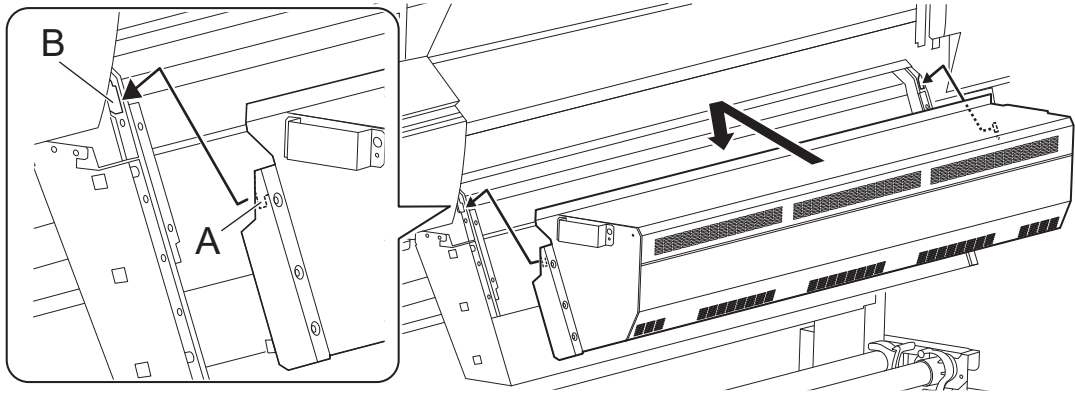
3. ドライヤーを取り付ける

重要

ドライヤーは必ず2人で持って取り付けてください。

手順

1. フロントカバーを開ける。
2. 2名でドライヤー左右のハンドルを持ち、ドライヤーを本体に取り付ける。
ドライヤーのフック (A) を本体の (B) 部に引っ掛けて取り付けてください。



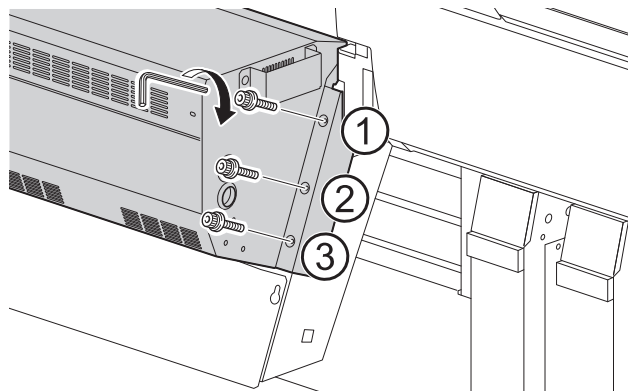
3. ドライヤーの左右位置を調整してボルト取付穴を合わせ、ボルト (×6) を仮締めする。

メモ

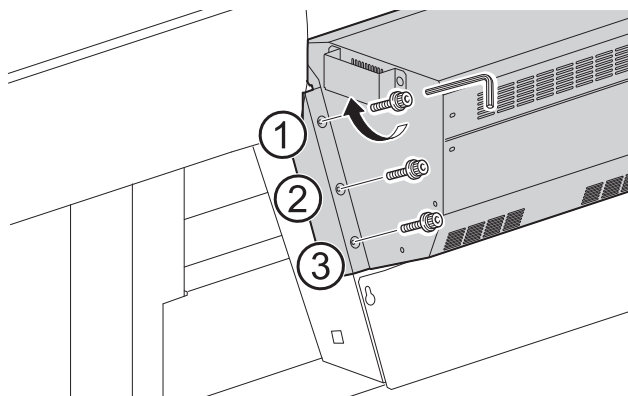
ドライヤーとアーム B の穴の位置が合わない場合はドライヤーを一度取り外し、アーム B の位置を調整してください。

- アーム B のネジ穴がドライヤーの内側にある場合：延長エプロンの取り付けボルトを緩め、アーム B を外側に引いた状態でボルトを締め付ける。
- アーム B のネジ穴がドライヤーの外側にある場合：延長エプロンの取り付けボルトを緩め、アーム B を内側に押した状態でボルトを締め付ける。

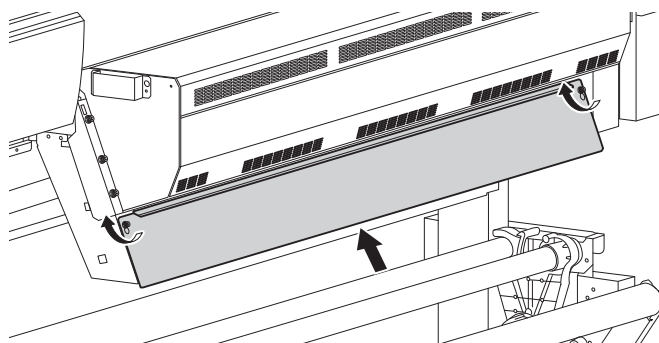
4. プリンター前面から見て右側のボルト (×3) を本締めする。



5. プリンター前面から見て左側のボルト (×3) を本締めする。



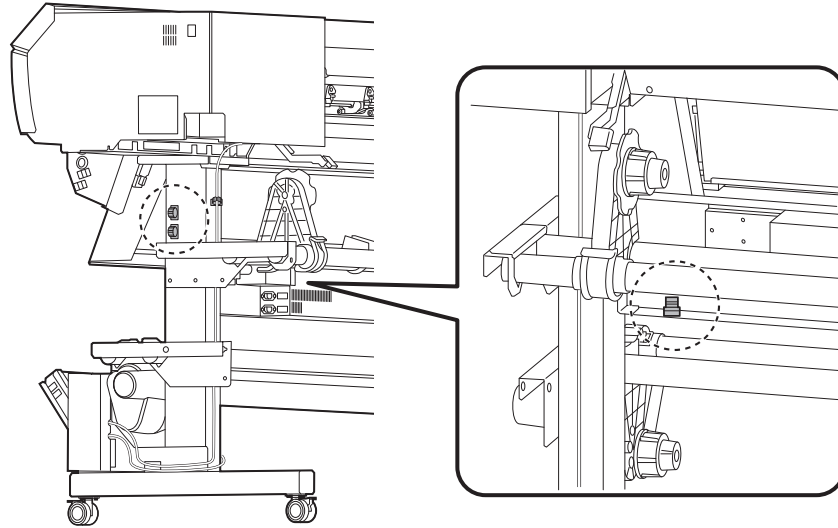
6. 延長カバーをドライバーに押し付けた状態で延長カバーのボルトを本締めする。



4. ケーブルを接続する

手順

1. クランプ（×3）を図の位置に取り付ける。



2. ドライヤー～ドライバーコントローラー間のケーブルを接続する。
この作業は、専門の作業員が行います。お客様自らは絶対に作業しないようにしてください。

⚠ 注意

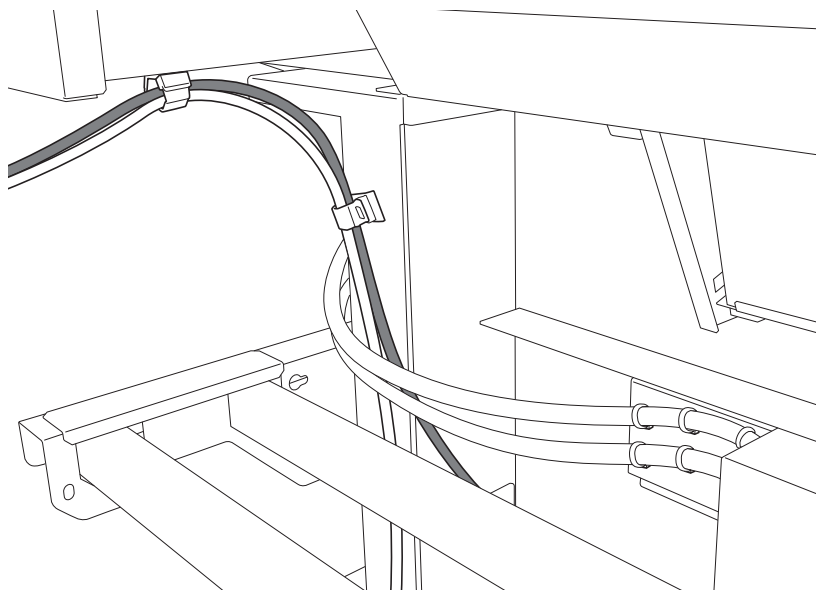
この作業は専門の作業員に任せる。

電氣的危険源周辺での作業や、複雑な組立て作業を含みます。誤った作業は、けがや機体の故障を引き起こすことがあります。

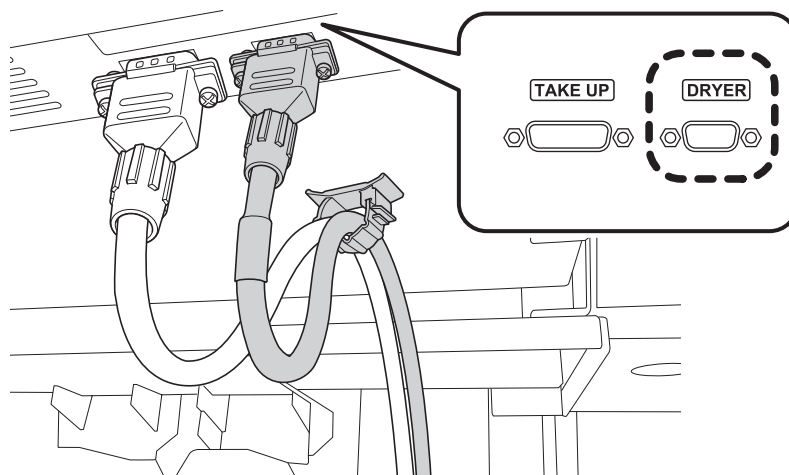
メモ

ドライヤー～ドライバーコントローラー間のケーブルは、取り付け後ドライヤー側にたるみをもたせてください。カバーRを開けたとき、干渉しにくくなります。

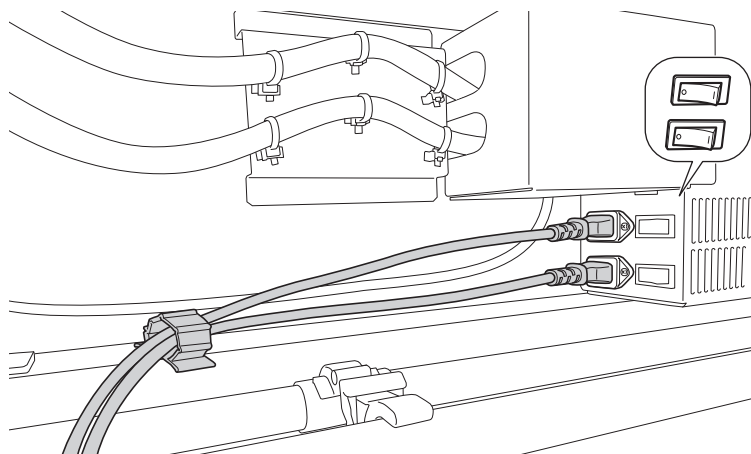
3. ドライヤーコントローラー～プリンター本体間のケーブルを接続する。
 - (1) ケーブルを図のクランプ（×2）で固定する。
 - ・クランプは巻取装置のケーブルと共有で使用します。
 - ・ケーブルはドライヤー～ドライバーコントローラー間のケーブルとスタンド脚の間を通してください。



- (2) ケーブルを本体の[DRYER]コネクターに接続する。
プラスドライバー（No.1）を使用してコネクターのねじを締めてください。



4. ドライヤーコントローラーの電源ケーブル（×2）を接続する。
(1) スイッチがオフの状態です電源ケーブル（×2）を接続する。
(2) クランプで電源ケーブル（×2）を固定する。
ここではまだコンセントに接続しないでください。

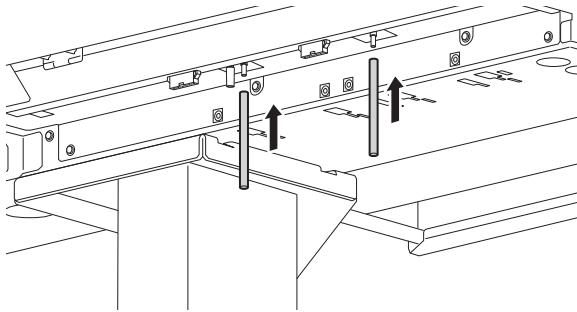


Step 6: 廃液ボトルの取り付け

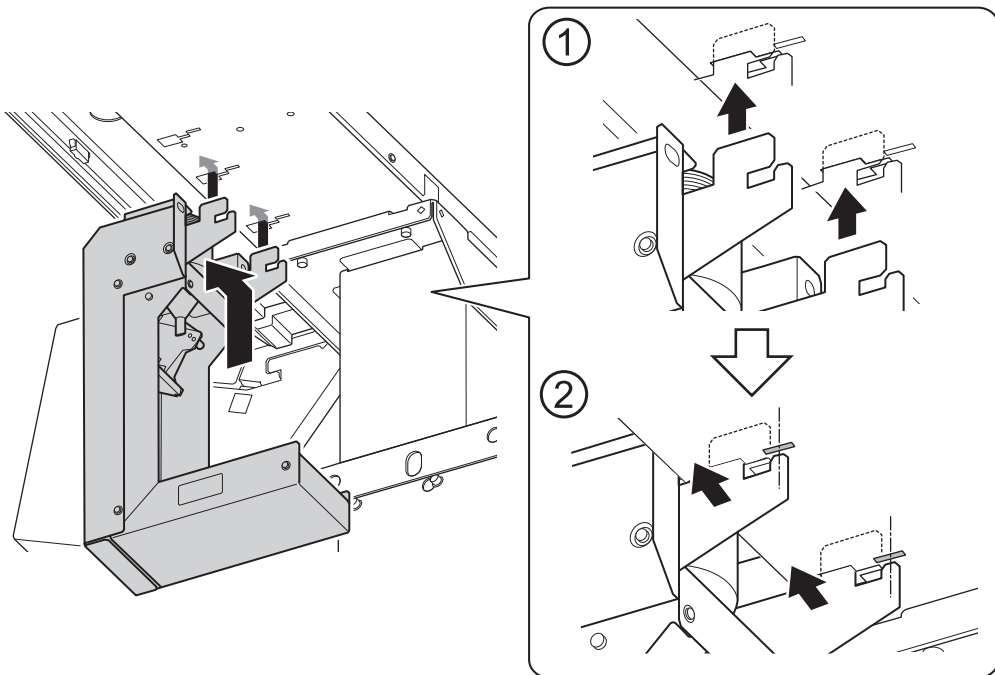
廃液ボトルは CMYK 用（外側）とオプティマイザー用（内側）の 2 つあります。取り付け手順は内側で説明していますが外側も手順は同様です。

手順

1. 本体のコネクターにチューブ（2本）を接続する。

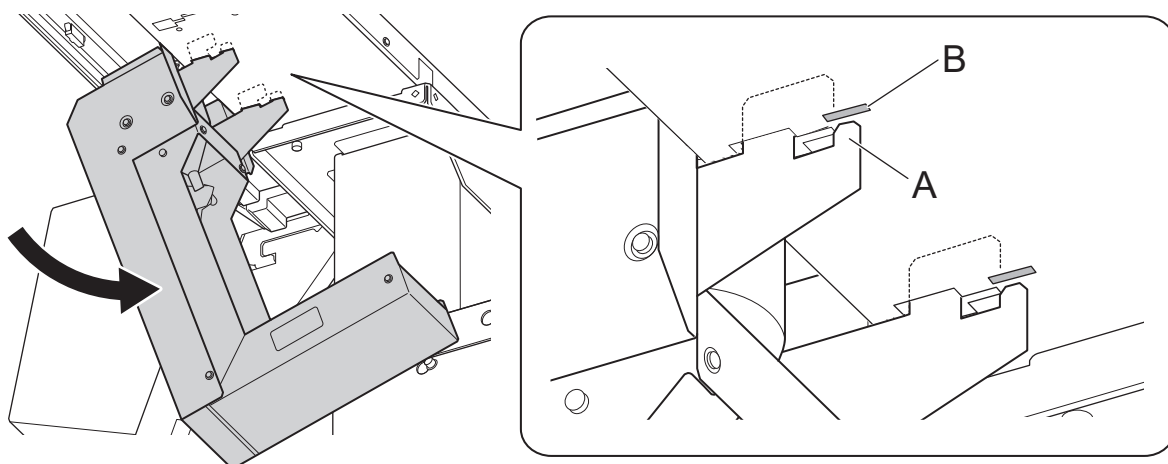


2. 廃液ボトルスタンドを溝に差し込み①、右にスライド②する。

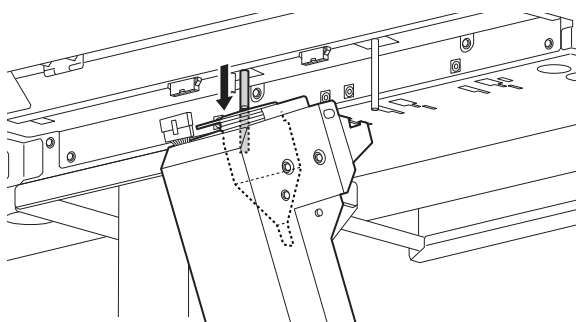


ツメ (A)を溝 (B)に入れ、図の状態にしてください。

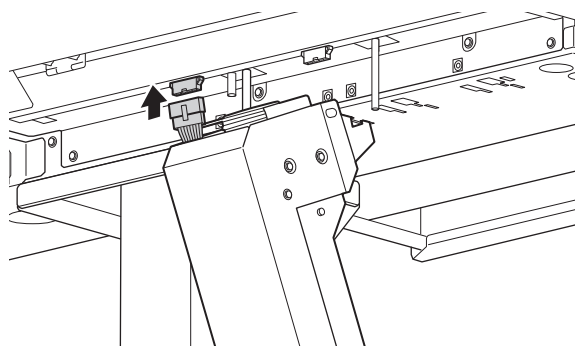
1. 組み立てとインク充てん



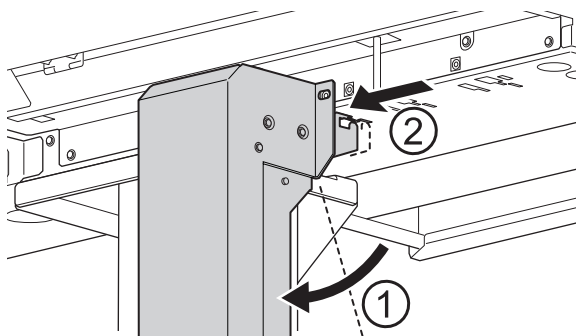
3. チューブの先端を廃液用漏斗に入れる。



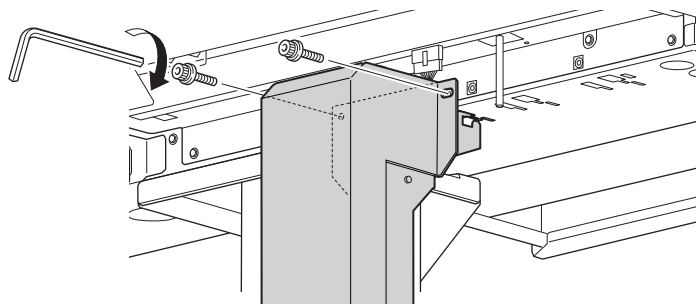
4. 廃液ボトルスタンドのコネクターを本体に接続する。



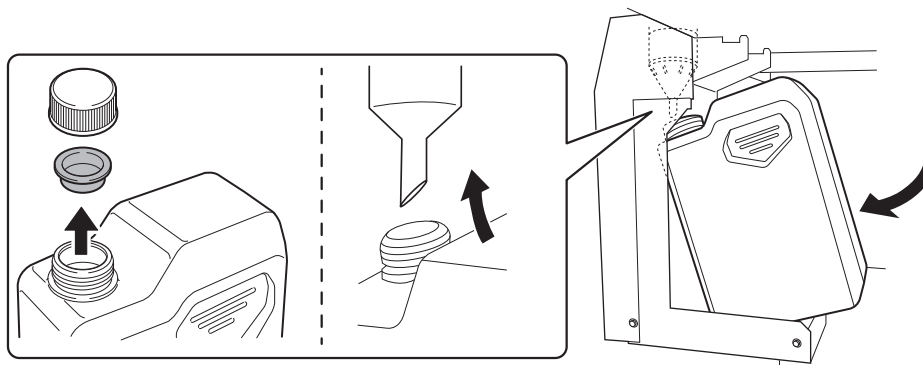
5. 廃液ボトルスタンドを垂直に起こして①、左にスライドする②。
ツメが完全に溝から出るまで、廃液ボトルスタンドを起こしてください。



6. ボルト (×2) を本締めして廃液ボトルスタンドを固定する。

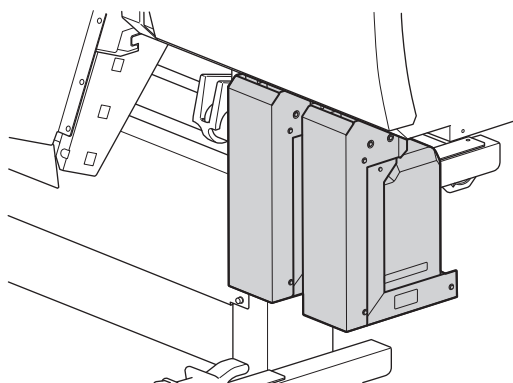


7. 廃液ボトルをボトルスタンドに取り付ける。



8. もう一つの廃液ボトルスタンドも同様に取り付ける。

2つの廃液ボトルが取り付けられた状態



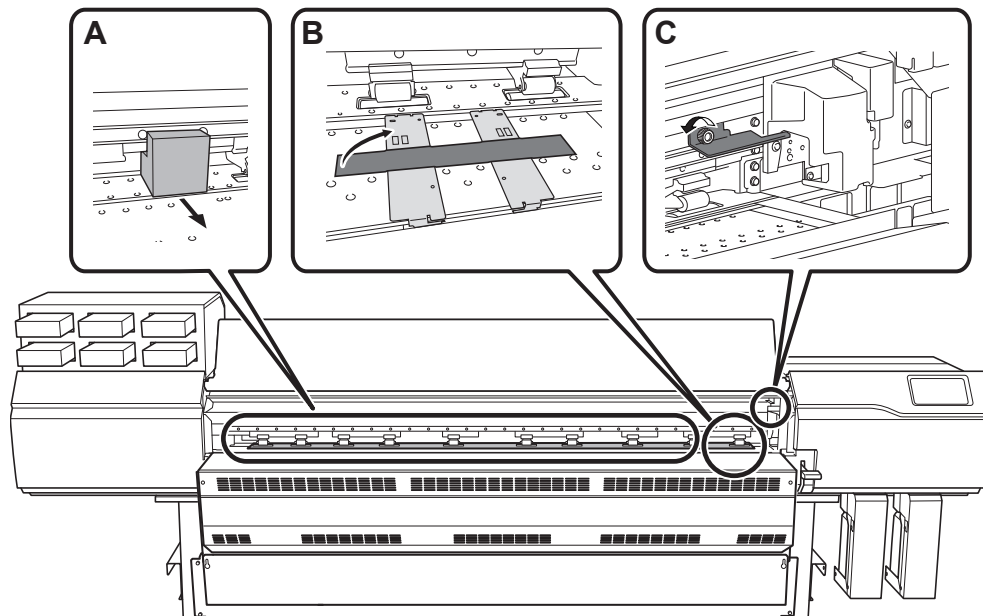
Step 7: 固定具の取り外し

重要

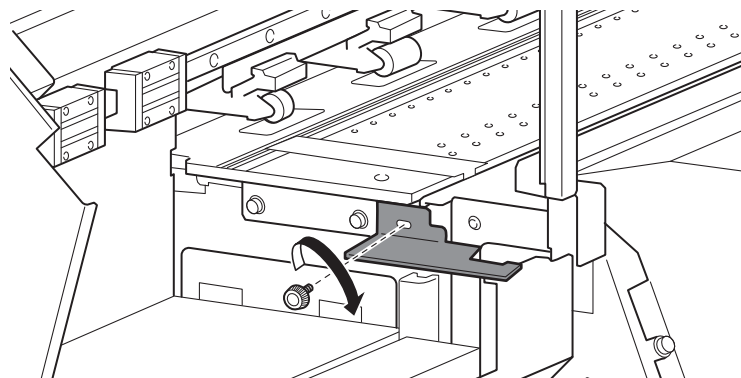
- 固定具は残さずに取り外してください。残したまま電源をオンにすると、誤動作や故障の原因になります。
- 輸送するときに必要になりますので、固定具はなくさないよう保管してください。

手順

1. フロントカバーを開ける。
2. 固定具を全て取り外す。



3. 保管のため、Cの固定具は図の位置に取り付ける。
手順2で取り外したボルトを使用してください。



4. フロントカバーを閉じる。

Step 8: プリントヘッドの取り付け

この作業は、専門の作業員が行います。お客様自らは絶対に作業しないようにしてください。

注意

この作業は専門の作業員に任せる。

電氣的危険源周辺での作業や、複雑な組立て作業を含みます。誤った作業は、けがや機体の故障を引き起こすことがあります。

Step 9: 洗浄液の充てん

この作業で使用するもの

- 洗浄液ボトル

重要

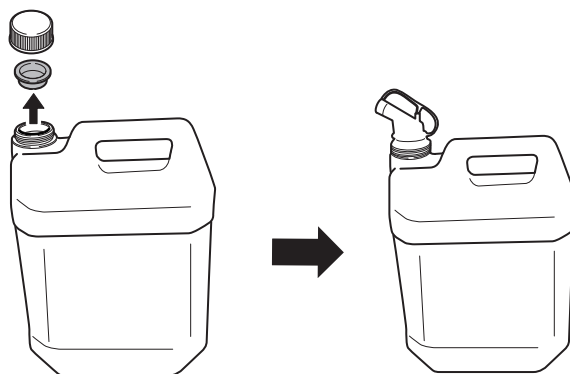
- 消費期限内の洗浄液をお使いください。
- 指定の種類でない洗浄液は絶対に使わないでください。
- 洗浄液は揮発します。洗浄液の充てんが終わったら洗浄液タンクおよび洗浄液ボトルのふたは閉じてください。
- 洗浄液は、別途ご購入が必要です。本機をお買い上げの販売店へお問い合わせください。

手順

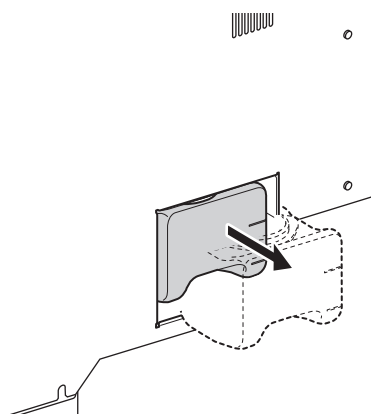
1. 洗浄液ボトルを準備する。

重要

洗浄液ボトルに取り付けるノズルは奥までしっかり差し込んでください。



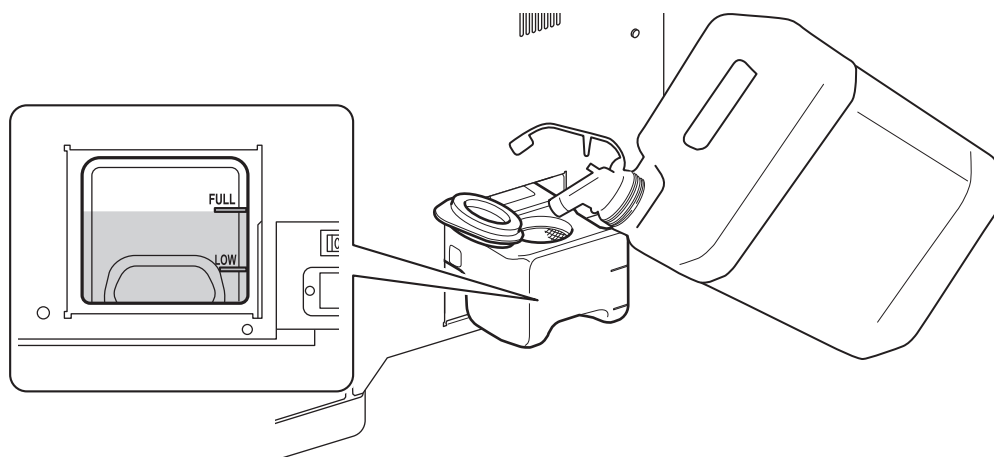
2. 洗浄液タンクをプリンターの側面から引き出す。



3. 洗浄液タンクのふたを開けて、洗浄液を「Full」の線まで注ぐ。

重要

「Full」の線を超えないようにしてください。



4. 洗浄液タンクのふたを閉じて、洗浄液タンクをプリンターの内部にゆっくり戻す。
5. 洗浄液ボトルのノズルと空気口のふたを閉じる。

Step 10: インクの準備

この作業で使用するもの

- パウチトレイ (6)
- インクパウチ (各色)

重要

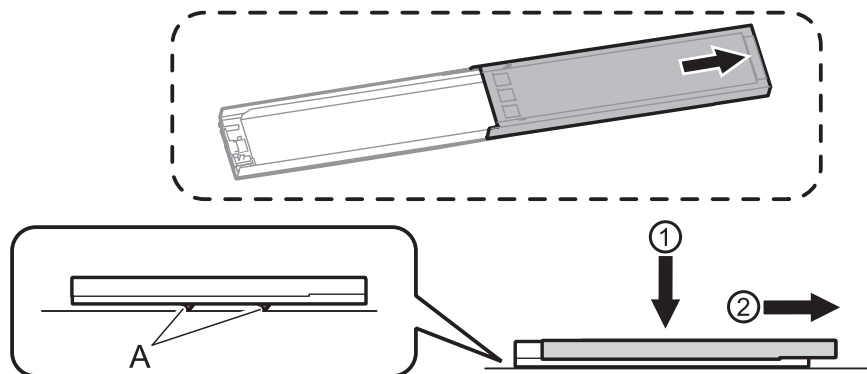
- インクパウチは必ず新品をお使いください。
- 指定の種類でないインクは絶対に使わないでください。
- インクパウチは、別途ご購入が必要です。本機をお買い上げの販売店へお問い合わせください。

手順

1. 平らなところにパウチトレイを置く。

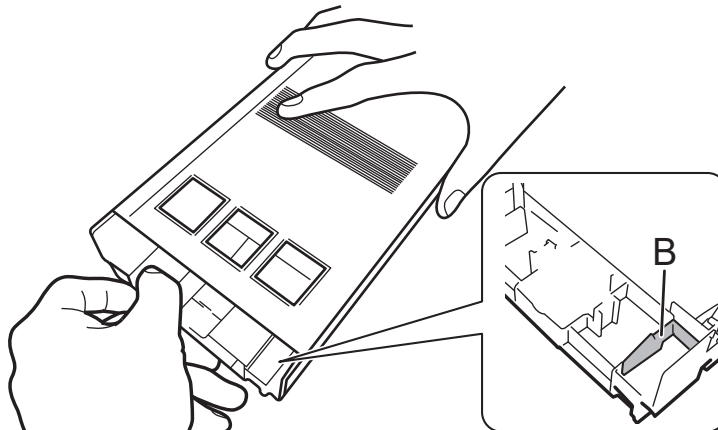


2. パウチトレイ下側のツメ (A) を押し込んだ状態①で、ふたをスライド②して全開にする。



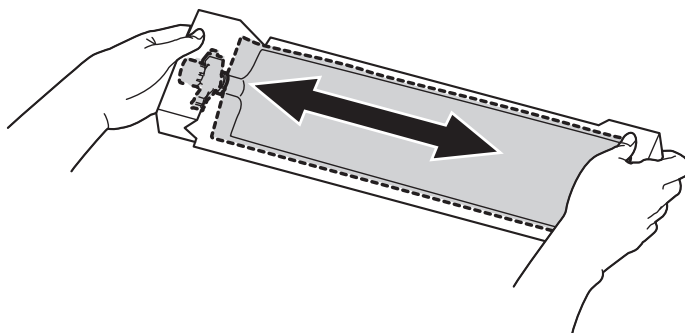
重要

ふたを開けるときは図のように持ち (B) に触れないでください。破損する恐れがあります。



3. インクパウチの梱包箱から内箱を取り出し、軽く振る。

インクパウチを保護するため、内箱に入れた状態で振ってください。

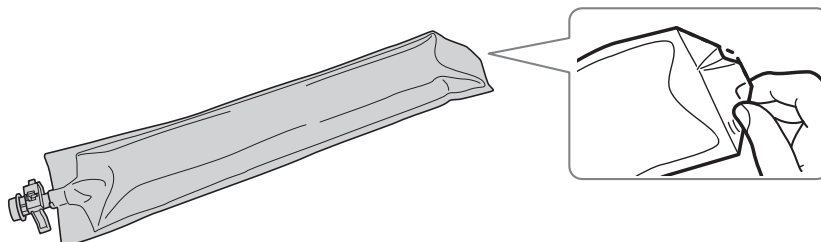


4. インクパウチを内箱およびビニール袋から取り出す。

重要

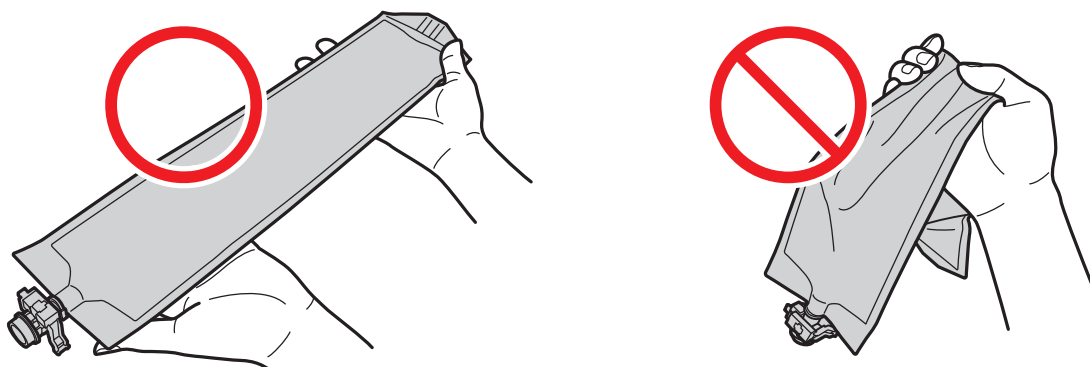
- ビニール袋から取り出す際、カッターナイフ等を使わないでください。インクパウチを切ってしまう可能性があります。
- ビニール袋の中に消費期限シールがあります。この後の作業で使用するため、なくさないようにしてください。

インクパウチの端が折れ曲がったり、波打っていたりするときは、手でまっすぐに伸ばしてください。



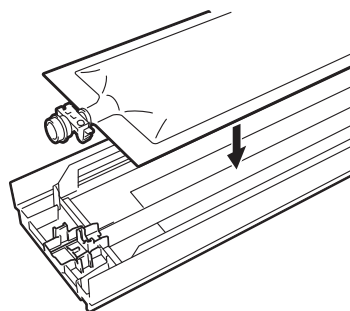
重要

インクパウチは慎重に取り扱ってください。折り曲げたり、鋭利な物に引っ掛けたり、落としたりすると破れる恐れがあります。

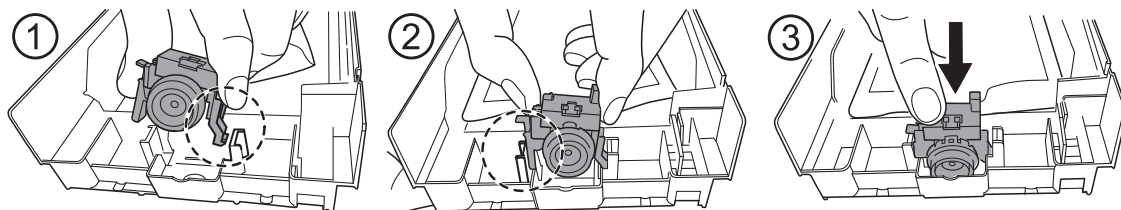


5. 各色のインクパウチをパウチトレイにセットする。

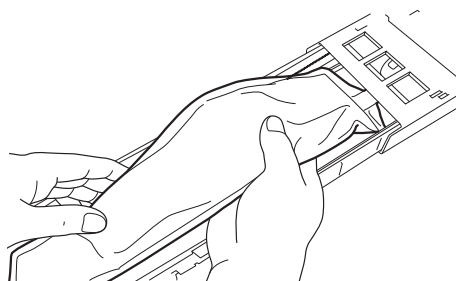
- (1) インクパウチをパウチトレイの上に置く。



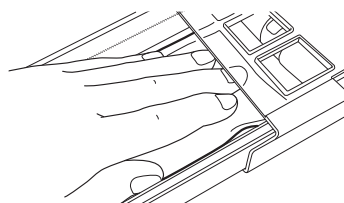
- (2) 以下の手順でインクパウチの先端をパウチトレイに取り付ける。
カチッと音が鳴るまで押し込んでください。



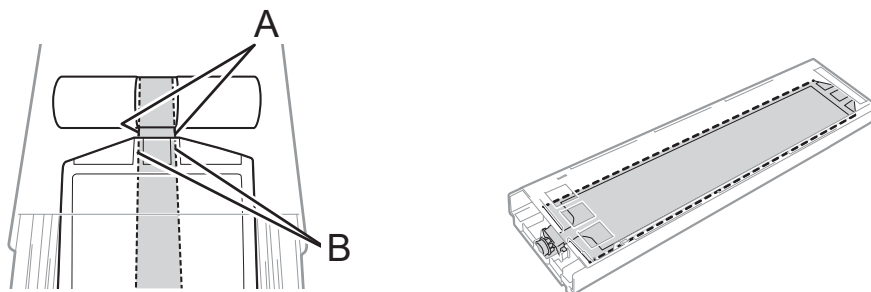
- (3) パウチトレイの内側にインクパウチを入れる。



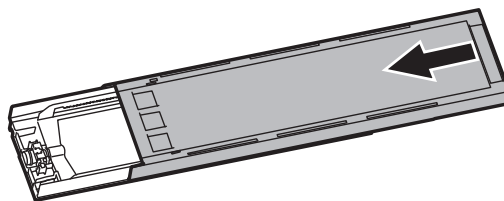
- (4) パウチトレイのローラーの下にインクパウチの後端を差し込み、まっすぐになるよう配置する。



- (5) インクパウチが正しい位置にセットされたことを確認する。
パウチトレイのライン (A) とインクパウチのライン (B) とを合わせます。インクパウチがパウチトレイに対してまっすぐであることを確認してください。



- (6) パウチトレイのふたをカチッと音がするまで閉じる。



(7) インクパウチに同梱されている消費期限シール (A) を、パウチトレイのインクラベル右側に貼りつける。



Step 11: ケーブル類の接続

⚠ 警告

この作業は、すべての電源スイッチをオフにしたままで行うこと。
本機が突然動き、けがをすることがあります。

⚠ 警告

本機の定格（電圧、周波数、電流）に適合するコンセントに接続する。
電圧が違ったり、電流に余裕がないと、火災や感電につながります。

⚠ 警告

電源コード、プラグ、コンセントは、正しくいねいに取り扱う。傷んだものは使わない。
傷んだものは、火災や感電の原因になります。

⚠ 警告

延長コードやテーブルタップは、本機の定格（電圧、周波数、電流）より余裕のあるものを使う。
たこ足配線や長い延長コードは、火災の原因になります。

手順

1. 電源コードとイーサネットケーブル（市販品）をそれぞれ接続する。
イーサネットおよびイーサネットケーブルは以下を推奨します。
 - ・イーサネット：1000BASE-T
 - ・イーサネットケーブル：カテゴリ 5 以上

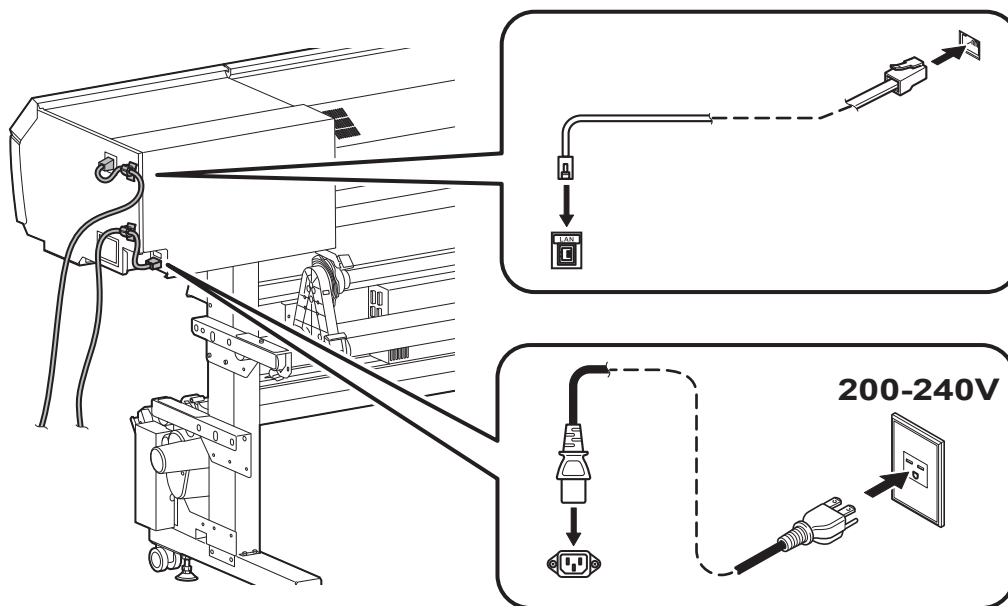
⚠ 警告

コンセントに接続すること。分電盤など固定配線設備に直接つながないこと。
万一の場合、火災や感電にいたる危険が大きくなります。

⚠ 警告

アースに接続する。
万一の故障で漏電したときに、火災や感電にいたるのを防ぎます。

2. クランプ（×2）を図の位置に取り付ける。
3. 電源コードとイーサネットケーブルをクランプで固定する。



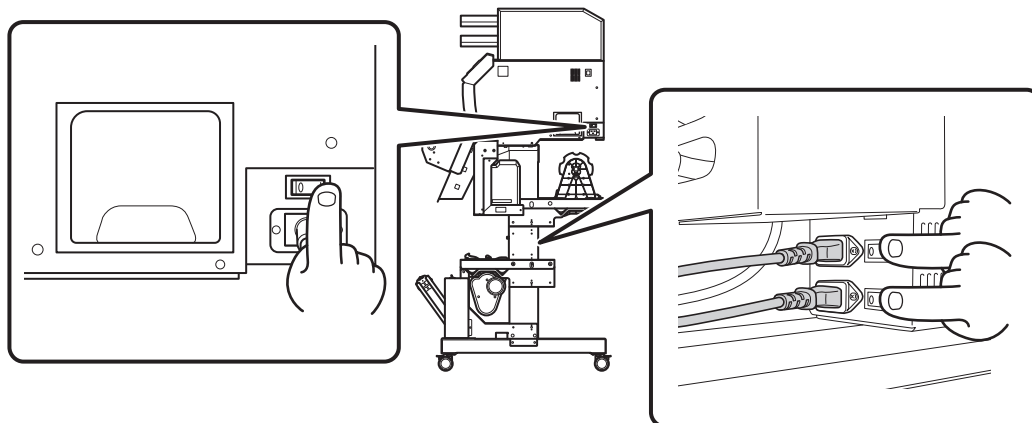
4. 本機の電源コードおよびドライヤーの電源コード（×2）を200～240 Vの電源に接続する。

Step 12: 初期設定とインク充てん

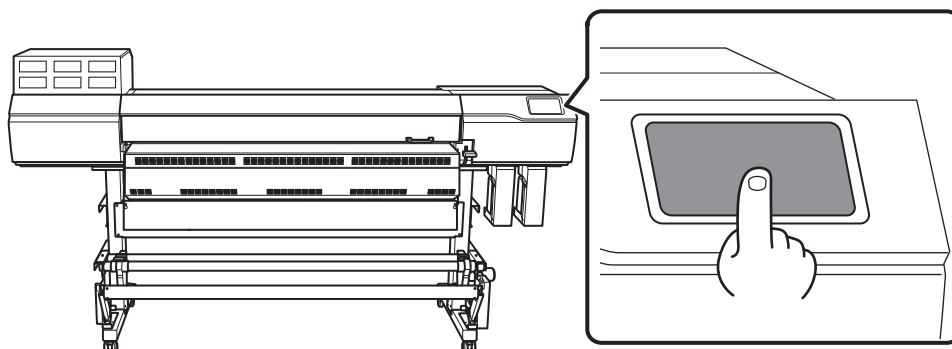
1. 初期設定をする

手順

1. ドライヤー（×2）およびプリンターのメイン電源スイッチをオンにする。



2. 操作パネルをタップする。
操作パネルの電源がオンになり、[Language]画面が表示されます。



3. [Language English]をタップする。
言語選択画面が表示されます。

メモ

出荷時設定：[English]

4. 言語を選択し[OK]をタップする。
5. [保存]をタップする。
6. [単位設定]画面が表示されるので、[長さ単位]と[温度単位]を設定する。

メモ

出荷時設定

- [長さ単位]：mm

• [温度単位] : °C

7. [保存]をタップする。
8. [インクタイプ未設定]画面が表示されるので、[実行]をタップする。
9. [ヘッド高さ不整合]のエラーメッセージが表示された場合は、ヘッド高さを[低い]に設定して、[OK]をタップする。
ヘッド高さ設定の詳細手順はユーザーズマニュアルを参照してください。

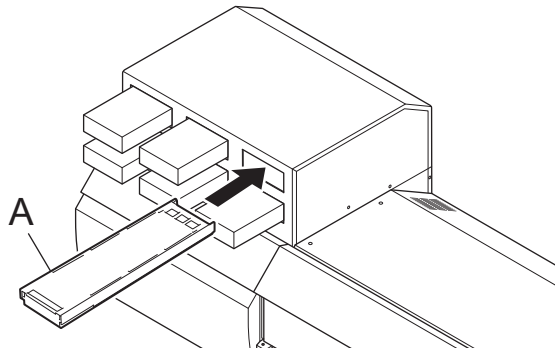
[すべてのインクパウチトレイをセットしてください。]画面が表示されたら、初期設定は完了です。

2. インクを充てんする

手順

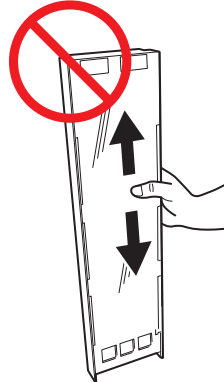
1. インクスロットにパウチトレイ (A) をセットする。

奥に突き当たるまで差し込んでください。差し込んだインクが操作パネルで認識されない場合は、一度抜いてからもう一度差し込んでください。

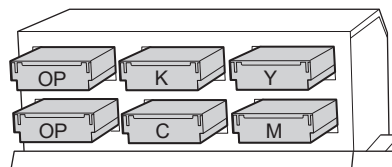


重要

- 空のパウチトレイを差し込まないでください。空のパウチトレイを差し込むと、インク経路に空気が侵入し、プリンターの故障の原因になります。
- インクパウチをセットした後に、パウチトレイを下向きにして振らないでください。しわが発生して、インクパウチの巻き取りが正しく行われません。



- インクスロットとパウチトレイに表示された色名を確認し、すべてのパウチトレイを正しい位置にセットしてください。




[インクを充てん中です。お待ちください。]が表示され、インクを充てんします。

2. インクの充てんが終わるとトップ画面が表示されます。

2. ネットワークの設定

本機は DHCP サーバーによる IP アドレス自動割り当てに対応しています。ご使用のローカルネットワーク環境に DHCP サーバーがある場合はネットワークの設定は不要です。LAN ケーブルを接続後、使用するコンピューターでソフトウェア RIP を設定する (P. 63) を実施してください。


ただし、DHCP サーバーがない場合は、IP アドレスの割り当てに時間がかかります。 をタップして [接続に時間がかかっています。IP アドレスを手動設定すると改善します。] というメッセージがあれば、[固定 IP アドレスを設定する \(P. 57\)](#) をおこなってください。

また、コンピューターと本機を直接接続して使用する場合は、[コンピューターと直接接続する \(P. 59\)](#) をおこなってください。


使用するコンピューターが複数のネットワーク機器やインターネットに接続されている環境では、不適切な設定はネットワーク全体に重大な影響を及ぼします。各設定の詳細はネットワーク管理者に相談してください。

固定 IP アドレスを設定する

手順

-  をタップする。
- [システム情報]>[ネットワーク設定]をタップする。
- [IP アドレスの自動取得]をタップし、[無効]にする。

- [IP アドレス]右側の  をタップする。
数字入力画面が表示されます。



メニュー操作中:[ホーム]を押すと出力できます。

← ネットワーク設定 ?

IPアドレス
192.168.0.3 OK

1	2	3	-
4	5	6	,
7	8	9	✕
.	0	—	↩


- IP アドレス値を入力する。
IP アドレス値はネットワーク管理者にご確認ください。
- [OK]をタップする。


2. ネットワークの設定

7. [サブネットマスク]右側の  をタップする。

数字入力画面が表示されます。

メニュー操作中:[ホーム]を押すと出力できます。

← ネットワーク設定 

サブネットマスク
255.255.255.0 

1	2	3	-
4	5	6	,
7	8	9	✕
.	0	—	←


8. サブネットマスク値を入力する。


9. [OK]をタップする。

10. [デフォルトゲートウェイ]右側の  をタップする。

数字入力画面が表示されます。

メニュー操作中:[ホーム]を押すと出力できます。

← ネットワーク設定 

デフォルトゲートウェイ
192.168.0.1 

1	2	3	-
4	5	6	,
7	8	9	✕
.	0	—	←

11. デフォルトゲートウェイ値を入力する。

12. [OK]をタップする。

13. [保存]をタップする。

14.  をタップして、もとの画面に戻る。

固定 IP アドレスの設定はこれで終了です。ホーム画面に戻り、ソフトウェア RIP を設定する (P. 63) に進んでください。

コンピューターと直接接続する

ここでは、コンピューターと本機を1対1で接続して使用する場合の設定手順を説明します。

Step 1: コンピューターのネットワーク設定を行う

手順

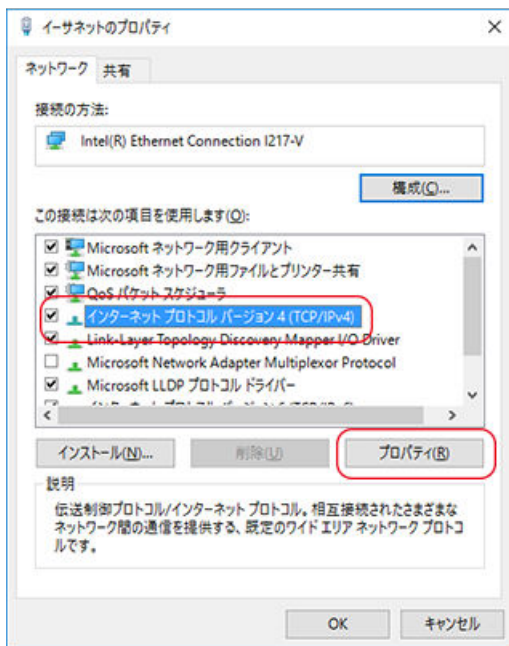
1. [管理者]または[Administrators]グループのメンバーとして Windows にログオンする。
2. ネットワーク接続に関する画面を表示する。
 - Windows 11
 - a. [スタート]>[設定]をクリックする。
 - b. [ネットワークとインターネット]>[ダイヤルアップ]をクリックする。
 - c. [ネットワークと共有センター]をクリックする。
 - d. [イーサネット]または[Wi-Fi]をクリックする。
 - Windows 10
 - a. [スタート]>[設定]>[ネットワークとインターネット]をクリックする。
 - b. [ネットワークと共有センター]をクリックする。
 - c. [イーサネット]または[Wi-Fi]をクリックする。
3. [プロパティ]をクリックする。
[ユーザーアカウント制御]画面が表示された場合は、[続行]をクリックしてください。



[イーサネットのプロパティ]または[Wi-Fiのプロパティ]画面が表示されます。

4. [インターネット プロトкол バージョン 4 (TCP/IPv4)]を選択し、[プロパティ]をクリックする。
[インターネットプロトкол]のチェックボックスがオフだった場合は、クリックしてオンにしてください。

2. ネットワークの設定



5. [次の IP アドレスを使う]を選択し、次のように入力して[OK]をクリックする。

項目	入力するアドレス
IP アドレス	192.168.0.XXX
サブネットマスク	255.255.255.0

[XXX] は 1 ~ 254 の任意の番号です。ただし、他のパソコンや機器と重複しない番号にしてください。




6. 以下をクリックして、もとの状態に戻る。
- [インターネット プロトコル バージョン 4 (TCP/IPv4) のプロパティ]の[OK]
 - [イーサネットのプロパティ]または[Wi-Fi のプロパティ]の[閉じる]
 - [イーサネットの状態]または[Wi-Fi の状態]の[閉じる]

Step 2: プリンターのネットワーク設定を行う

手順

1. IP アドレスを設定する。

- (1)  をタップする。
- (2) [システム情報]>[ネットワーク設定]をタップする。
- (3) [IPアドレスの自動取得]をタップし、オフにする。

- (4) [IPアドレス]の  をタップする。

- (5) IPアドレス (192.168.0.XXX) を設定する。

[XXX] は 1~254 の任意の番号です。ただし Step1 での設定、あるいは他のパソコンや機器と重複しない番号にしてください。

[192.168.0]の部分はコンピューターの設定と同じにしてください。

ここでは例として[192.168.0.3]と入力します。

メニュー操作中:[ホーム]を押すと出力できません。

← ネットワーク設定 ? 

IPアドレス
192.168.0.3 OK 

1	2	3	-
4	5	6	,
7	8	9	✕
.	0	—	←

- (6) [OK]をタップする。

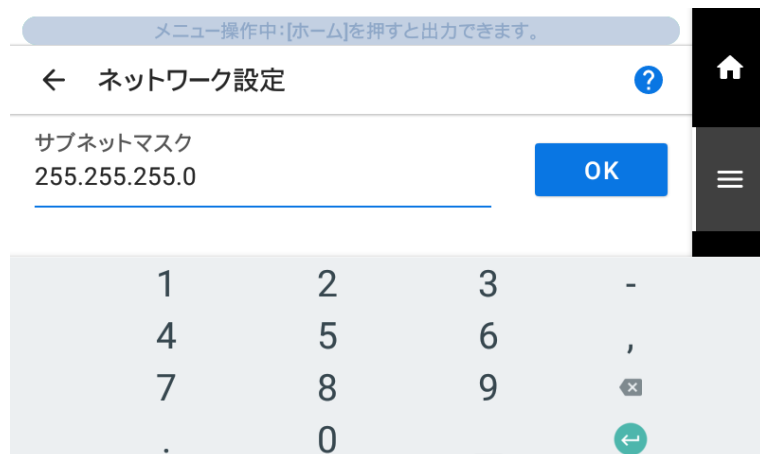
2. サブネットマスクを設定する。

- (1) [サブネットマスク]の  をタップする。

- (2) サブネットマスク (255.255.255.0) を設定する。

サブネットマスクはコンピューターと同じ値を設定します。

2. ネットワークの設定



(3) [OK]をタップする。


(4) [保存]をタップする。

コンピューターと本機を 1 対 1 で使用する場合は、プリンター側の設定はこれで終了です。

もとの画面に戻り、[ソフトウェア RIP を設定する \(P. 63\)](#) に進んでください。

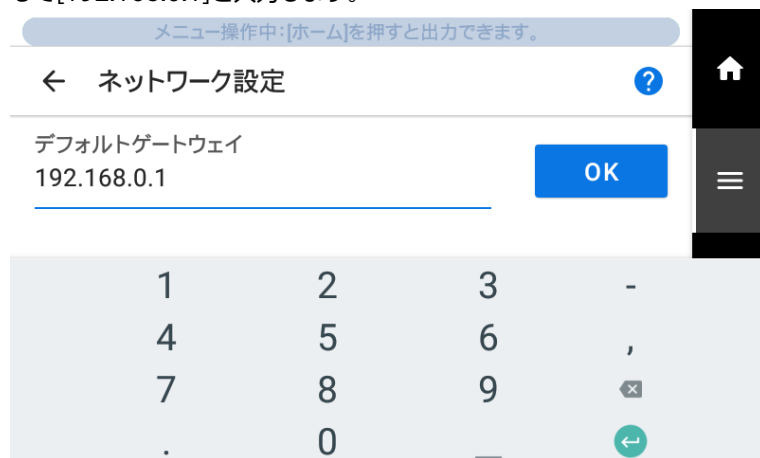
ゲートウェイアドレスを設定する必要がある場合は、次の手順に進んでください。

3. ゲートウェイアドレスを設定する

(1) [デフォルトゲートウェイ]の  をタップする。


(2) デフォルトゲートウェイ (192.168.0.XXX) を設定する。

デフォルトゲートウェイにどのような値を入力するかはネットワーク管理者に相談してください。ここでは例として[192.168.0.1]と入力します。



(3) [OK]をタップする。

(4) [保存]をタップする。

4.  をタップして、もとの画面に戻る。

3. 調整とソフトウェア RIP の設定

調整作業をする

この作業は専門の作業員が行います。お客様自らは絶対に作業しないようにしてください。

ソフトウェア RIP を設定する

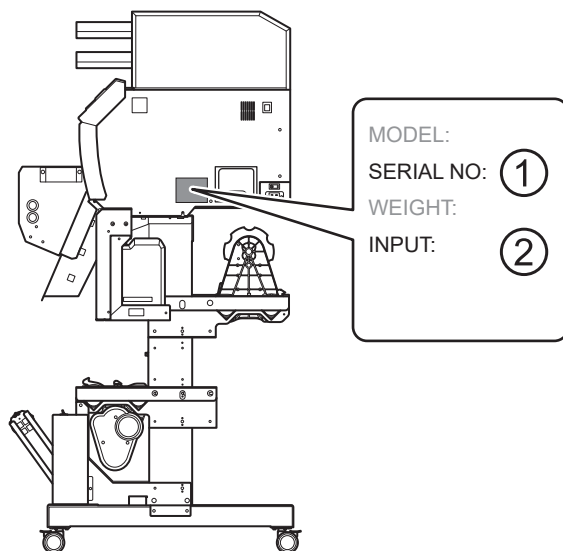
VersaWorks インストール後にプリンターを接続する方法については、[VersaWorks インストールガイド](#)をご確認ください。

付録

定格電源およびシリアル番号の表示位置.....	65
仕様一覧表.....	66

定格電源およびシリアル番号の表示位置

右側面



①	シリアル番号 保守サービスやサポートをお受けになるときに必要となります。ラベルははがさないでください。
②	定格電源表示 ここに書かれた電圧、周波数、容量を満たす電源をお使いください。

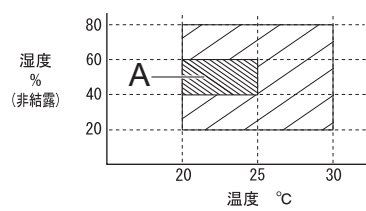
仕様一覧表

印刷方式		ピエゾインクジェット方式
メディア	幅	259 ~ 1,625 mm
	厚み	台紙を含め最大 1.0 mm
	ロール外径	最大 250 mm
	ロール重量	最大 45 kg
	芯径	76.2 mm (3 インチ) および 50.8 mm (2 インチ)
印刷幅*1		最大 1,615 mm
インク	種類	Resin ink 700 ml パウチ
	色	4 色 (シアン、マゼンタ、イエロー、ブラック) とオプティマイザー
解像度		最大 1,200 dpi
インク乾燥システム*2		プリントヒーター、設定温度：25 ~ 45 °C ドライヤー、設定温度：70 ~ 110 °C
インターフェース		Ethernet (100BASE-TX/1000BASE-T 自動切替)
省電力機能		自動スリープ機能
定格入力		プリンター: 200-240 Va.c. 50/60 Hz 3 A ドライヤー 1: 200-240 Va.c. 50/60 Hz 10 A ドライヤー 2: 200-240 Va.c. 50/60 Hz 10 A
消費電力	動作時	約 4,000 W
	スリープモード時	約 65 W
動作音	動作時	69 dB(A)以下
	待機時	53 dB(A)以下
外形寸法 (幅×奥行×高さ)		2,886 mm×836 mm×1,550 mm
質量		266 kg
環境*3	動作時	温度：20 ~ 30 °C、湿度：20 ~ 80 % RH (ただし結露のないこと)
	推奨環境	温度：20 ~ 25 °C、湿度：40 ~ 60 % RH (ただし結露のないこと)
	非動作時	温度：5 ~ 40 °C、湿度：20 ~ 80 % RH (ただし結露のないこと)
付属品		専用スタンド、電源コード、ドライヤー、メディア巻取装置、メディアホルダー、セパレーティングナイフ、替え刃、メンテナンス用洗淨液ボトル、廃液ボトル、取扱説明書、ソフトウェアほか

*1 印刷長さは、アプリケーションソフトによる制限を受けます。

*2 ・電源投入後、ウォームアップが必要です。環境によって異なりますが、5 ~ 20 分程度必要です。
・環境温度やメディアの幅によっては、設定温度に達しないことがあります。

*3 この範囲でお使いください。また、メディアによっては画質に差が出ることもあるため、推奨環境内 (A) での印刷をおすすめします。





BROTHER INDUSTRIES, LTD. <http://www.brother.com/>
1-5, Kitajizoyama, Noda-cho, Kariya 448-0803, Japan.

ブラザー工業株式会社 <http://www.brother.co.jp/>
〒448-0803 刈谷市野田町北地藏山1番地5 TEL:0566-95-0086